

# marie claire

marieclairejapon.com

11th December, 2025  
No.204



## Ever Forward

冬こそパワーを呼び込む

本サービスを利用した営利目的の活動行為、  
あるいは本サービスを通じて入手した情報を  
複製、販売、出版その他  
私的利用の範囲を超えて使用する行為の  
一切を禁止します。



# Welcome to marie claire vol.204

11

月13日に発行された別冊『marie claire GINZA GILC NIGHT 2025』でも紹介させていただきましたが、11月15日16時30分から「GINZA GILC(ギンザ インターナショナル ラグジュアリー コミッティ) NIGHT 2025」が始まりました。

15日の開会式では銀座通連合会の東條幹雄理事長、山本泰人中央区区長、横山和子築地警察署署長、小田切賢太郎GILC代表、それから女優の松下奈緒さんが登壇し、銀座通り(1丁目から8丁目)と晴海通り(数寄屋橋から銀座4丁目交差点付近)の合わせて約1.5kmの沿道に設置されたイルミネーション約100基の点灯ボタンが押され、通りは一瞬にして光に満ちた別世界へと変わりました。



点灯式に登壇された、左から小田切GILC代表、横山築地警察署署長、女優の松下奈緒さん、山本中央区区長、東條銀座通連合会理事長

「ジョルジオ アルマーニ」のタイトなブラックドレスに「カルティエ」のハイジュエリーを身に着けたゲストの松下奈緒さんは「銀座は特別な街、来るたびに楽しくて、来るたびに特別な気持ちにさせてくれます」とスピーチしました。このイベントはクリスマスの12月25日まで約40日間続けられますが、クリスマス商戦でにぎわう銀座の街を、さらに盛り上げていくことになると思います。

世界でもこの時期には、美しく華やかなイベントが展開されます。

パリ市ではクリスマス・シーズンになると「ギャラリー・ラファイエット」「プランタン」「ル・ボン・マルシェ」「サマリテヌ」といった高級デパートが仕掛ける華やかなイルミネーションや限定ディスプレイ、チュイルリー公園で開かれるクリスマス・マーケットや移動遊園地がホリデイシーズンのパリの風物詩として有名で、この時期に合わせてパリを訪れる観光客もとても多いのです。

「ギャラリー・ラファイエット」のアール・ヌーヴォーのドーム天井の下に設置される巨大なクリスマスツリーや、同じ通りにある「プランタン」の機械仕掛けの人形を使ったショーウィンドーは多くの人をひきつけています。ラグジュアリーブランドも負けてはいません。去年は、お店そのものをクリスマスのプレゼントボックスに見立て、大きなリボンで装飾した「カルティエ」や、モンテーニュ通りの「ディオール」本店も店の周りを様々なオーナメントで飾りつけ、多くの人たちが見を訪れ観光地化してしまうほどでした。シャンゼリゼ通りの沿道のきらめくイルミネーションや、シックなデコレーションのヴァンドーム広場の大きなクリスマスツリー、クリスマスカラーでライトアップされたエッフェル塔などは、パリをファンタジーの中にある街のように見せてくれます。

またクリスマスの間、パリ市内の各地ではクリスマス・マーケットが開かれます。有名なのは先述のチュイルリー公園やサンジェルマン・デ・プレ。マーケットには、数百の小屋が並び、フランスの食材や装飾品、手工芸品や高級照明器具などを扱っています。このようなマーケットを回る時に忘れてはならないのが、スパイシーなホットワイン、ヴァン・ショーです。凍てつく空気の中をこのワインで体を温めてマーケットをめぐるのが、クリスマスの楽しみ方のひとつなのです。

毎年、クリスマス・シーズンにはコンコルド広場に観覧車が設置され、それに乗れば煌めくパリの街を一望できますし、人工のスケートリンクも設けられます。

スケートリンクといえば、ニューヨークのクリスマスも忘れられない美しさです。大きなクリスマスツリーが飾られたロックフェラー・センター内に、シーズンの間だけ設けられるアイス・スケートリンク。そこは、数々の映画(『ホーム・アローン2』や『恋に落ちて』『オータム・イン・ニューヨーク』など)に登場し、冬のニューヨークの風物詩、そして感動的なシーンの舞台として使われています。

このシーズン、世界中のさまざまな都市が、個性あるデコレーションやイルミネーションを設け、多くの人を魅惑しています。

「GINZA GILC NIGHT」も、世界中の多くの人たちを魅了してやまないイベントとしてますます発展していくことを期待しています。

2025年12月11日

*Katsuto Tai*

田居克人

Katsuto Tai, marie claire 編集長



イルミネーションが点灯された銀座通り



パリ、アベニュー・モンテーニュの「ディオール」本店のクリスマス・デコレーション

## Contents

- 7 Welcome to marie claire /
- 8 Cover Story: Juliette Binoche /
- 11 Style Picks: Snow Luxe /
- 12 Power in Time /
- 14 GIORGIO ARMANI /
- 15 RIMOWA /
- 16 FERRAGAMO /
- 17 Travel: HOSHINOYA Tokyo /
- 21 Christoffle /
- 22 SAINT-LOUIS /
- 24 Beauty Horoscope 2026 /
- 26 Tourism Section
- Embassy of Spain /
- 28 HANKYU TRAVEL, mesm Tokyo /
- 29 MELLERIO, Ca'del Bosco /
- 32 marie claire open golf in Aichi 2025 /
- 34 SEIBU IKEBUKURO /
- 35 News, shop list

### cover

photo: Wataru Yoneda  
stylist: Jonathan Huguet  
hair: Asahi Sano  
make-up: Yuka Hirae  
jacket, shirt, pants: Gucci  
brooch, earrings, ring: Boucheron

## marie claire

2025年12月11日発行 第14巻 第12号(通巻204号)

発行人 Publisher:  
安部順一 Junichi Abe

編集長 Editor in Chief:  
田居克人 Katsuto Tai

デジタル編集長 Editor in Chief Digital:  
宮智 泉 Izumi Miyachi

アートディレクター Art Director:  
木村 裕治 Yuji Kimura

ビジネス スペシャリスト Business Specialist:  
斉賀明宏 Akihiro Saiga

副編集長 Deputy editor:  
大林理子 Riko Obayashi

編集部 Editorial Team:  
高波麻奈美 Manami Takanami  
マルチンバイヤル ホスツェツェグ  
Malchinbayer Khostsetseg  
岩崎芽衣 Mei Iwasaki

パリ特派員 Paris Correspondent:  
須山佳子 Keiko Suyama

デザイン Design:  
木村 裕治 Yuji Kimura  
佐藤 幹 Miki Sato

発行 Publication:  
読売新聞東京本社  
〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1  
tel: 03-3216-8815  
THE YOMIURI SHIMBUN

印刷 Printing:  
共同印刷  
KYODO PRINTING CO.,LTD.

### MARIE CLAIRE INTERNATIONAL

Executive Director:  
Jean de Boisdeffre  
International Deputy & Finance Director:  
Felix Droissart  
International Brand Director:  
Nicia Rodwell  
Chief Content Officer:  
Galia Loupan  
Chief Digital Officer:  
David Jullien  
International Fashion & Beauty Chief Editor:  
Florence Deladrière  
Senior International Brand Manager:  
Céline Hananel  
International Editorial Coordinator:  
Marie Bazin  
Global Partnerships / Media solutions:  
Magali Riboud (Agence Riboud)  
Foreign right Commercial:  
Thibaud le Pailh  
Licensing Manager:  
Stephanie Ertzbischoff  
Iconographer- Photo library:  
Isabelle Teboul

©MARIE CLAIRE ALBUM 2025  
©THE YOMIURI SHIMBUN 2025  
本誌掲載の記事・写真、イラストの無断転載を禁じます。

※本紙に掲載されている商品の価格は、特記されている場合をのぞき、すべて税込みです。

牡羊座aries 3月21日→4月19日★年始から中旬にかけて今まで目的を持って動いていたことが思わぬ評価を受けたり、注目されたりする流れ。特に1月末まではやる気と実行力も更に高まる暗示。邁進してやりきる。





初監督作を東京国際映画祭で披露

ジュリエット・ビノシュ

——とどまらない挑戦

Juliette Binoche

映画を通じて、女性の強さと美しさを体現し続けている俳優ジュリエット・ビノシュ。

フランスのみならず、世界の映画界において欠かせない存在の1人である。キャリアを積み円熟味を増すなか、映画監督として新たな一步を踏み出した。第38回東京国際映画祭での上映に合わせて来日を果たし、作品の裏側や映画界の実状、そして湧き上がる思いについて明かす。

英国のダンサー兼振付師アクラム・カーン氏と世界各国で公演を行ったダンス・パフォーマンスの制作過程を記録したドキュメンタリー映画『In-I in Motion (イン・アイ・イン・モーション)』で監督デビューを果たしましたが、振り返ってみていかがでしたか。

まず、ダンスで作品を作り上げることが身体的にも精神的にも非常に難しい挑戦だった。その後、ロバート・レッドフォードから映画にするように勧められたものの、制作会社を持っていないわけでもなく、時間もない。どうしたら映画になるのかまったく想像もつかなかった。そんななか、2年半前にノルウェーのプロデューサーから「何か実現したいプロジェクトはありますか?」と聞かれた瞬間に「これをやるしかない!」とひらめいたの。

新たな挑戦をするときに、意識している心構えがあれば教えてください。  
「どうぞ私をお救いください」と神に祈るような気持ちになることもあるけれど、最終的には自分の直感を信じること。「自分にとって大事なものは何か」「自分とは何者なのか」といった問いかけを続けていると、“芯”となるものが見えてくるように思う。

これまでさまざまな役どころを演じられていますが、映画に求められている女性像は変わってきたと感じますか?  
そうなっていると期待したい。私自身はキャリアの早い段階から自分の意志を貫き、役に自分の要素を入れられるようにキャラクターを模索してきた。優れた監督というのは俳優を信用してくれる人が多いけれど、映画作りにおいては、知識と洞察力のある監督とそれを表現する俳優との共同制作が楽しいの。

文化や芸術の分野で活躍している女性を称えるため「ケリング」がカンヌ国際映画祭と提携して創設した「Women In Motion (ウーマン・イン・モーション)」のトークに過去、参加されていましたが、最近の映画界でもまだ女性と男性の待遇には差がありますか?  
いまでもあると思う。ただ、フランスは強い女性監督が出てきたことによって、最近の映画界は揺さぶられているところがある。それに比べると、日本は女性の監督やプロデューサーの数がまだまだ少ないのではないかなと思う。男性が権力を保持しようとしている部分もあるけれど、それもアートの力で変わっていくと信じている。

ご自身がキャリアをスタートさせた当時の映画界は、いまよりも男性社会だったと思います。そのなかでどのように戦ってきたのでしょうか。

1980年代に俳優として活動を始めた頃は、まさに男性中心の世界だった。人間を描くうえで欠かせないラブシーンとは別に、意味のない女性のヌードシーンがほとんどの映画にあったくらい。夢を持って映画界に入っただけで、そんなふう間違っていると感じることも多かった。だから、10年ほどキャリアを積んでから出演したある映画で私が裸で部屋を歩くシーンを撮影したときに、「本当に必要ですか?」と監督に直訴して変更してもらったの。20代前半の頃は経験が足りないから、分析をして行動に移すことができなかったけれど、知見が増えれば正しいことができるようになる。

『イン・アイ・イン・モーション』でアソシエイト・プロデューサーを務めるMEGUMIさんがジュリエットさんを「最もクールな女性」と称していますが、自分らしく生きる秘訣とは?  
自分が欲しているものや自身の感情を突き詰め、何よりも自分であることを大事にしている。その過程で過ちを犯すこともあるかもしれないけれど、そのときは間違いを認めて、そこから学べばいい。頭で考えすぎると湧き上がってくる感性を殺してしまうこともあるから、静寂の中で自分に問いかけて、心の中にいる自分を信用するの。この感覚こそが本質だと思う。あとは、自分にとっての楽しみとは何かを考え、幸せな道を選ぶこと。障壁を乗り越えながら前に進み、賢く生きることが大切。

marieclairejapon.com

ジュリエット・ビノシュ  
1964年フランス・パリ生まれ。  
1985年の『ランデヴー』で脚光を浴び、『ボンヌの恋人』『存在の耐えられない軽さ』『ショコラ』などで国際的に評価を確立した。  
『トリコロール／青の愛』(1993年)でヴェネツィア国際映画祭女優賞、『イングリッシュ・ペイシエント』(1996年)でアカデミー助演女優賞、『トスカーナの贋作』(2010年)でカンヌ国際映画祭女優賞を受賞。  
2024年には自身初の監督作『イン・アイ・イン・モーション』を発表した。

photos: Wataru Yoneda  
stylist: Jonathan Huguet  
hair: Asahi Sano  
make-up: Yuka Hirao  
interview & text: Masami Shimura



(Cover、P8) ジャケット¥693,000 シヤツ¥225,500 パンツ¥209,000 ベルト、シューズ[ともに参考商品](すべてグッチ/グッチ クライアントサービス) ブローチ“フレッシュ” [WG×ダイヤモンド] ¥3,234,000 イヤリング“キャトル” [WG×ダイヤモンド] ¥16,104,000 (右手) リング“フレッシュ” [WG×ダイヤモンド] ¥4,752,000 [すべて予定価格](すべてプシュロン/プシュロン クライアントサービス)





©Studio des Fleurs



2



3



4

photos by Sean Thomas ©CHANEL



Courtesy of Louis Vuitton



9



8



7



6



5

(左から) Louis Vuitton 機能性と洗練さを備えた、冬のスポーツを彩る逸品が揃う。ジャケット¥1,012,000 ジレ、トップス[ともに参考商品] パンツ¥561,000 サングラス¥240,900[参考色] バッグ“アルマ・トラベル”¥1,006,500 シューズ[参考商品] (すべてルイ・ヴィトン/ルイ・ヴィトン クライアントサービス) Chanel 銀世界に映えるアイコン的なモトーンコードでゲレンデの主役に。カーディガン¥641,300 タートルネック¥482,900 パンツ¥798,600 イヤーマフ¥173,800 スノーボード¥1,790,800(シャネル/シヤネル カスタマー ケア センター)

## Snow Luxe 雪上で楽しむ冬のエレガンス

冬の休日を優雅に楽しむ大人たちに贈るのは、スポーティで気品溢れる洗練のウィンターリゾートスタイル。  
美しい雪山を背景に、心地よさとエレガンスを纏いながら非日常を謳歌して。

realization: Miyuki Kikuchi

**1.Hermès** ダッフルコートのホーンの留め具とメリノウールを使用。上質で柔らかな手触りとスマートフォン2台が収納できるサイズ感も嬉しい。スマートフォンケース[W16.5×H19.5cm]¥520,300(エルメス/エルメスジャパン) **2.Dior** ヴァージンウール100%のジップアップニットはサイドに“DIOR”シグネチャーがあらわれたスポーティなディテールとエレガントなデザインがゲレンデで映える一着。トップス¥700,000(ディオール/クリスチャン ディオール) **3.Loro Piana** カシミア製ビーニーは体温調節機能を備えた極上の肌触りで、快適さも上品さも兼ね備える逸品。ビーニー¥243,100(ロロ・ピアーナ/ロロ・ピアーナ ジャパン) **4.Fendi** 内側にシープファー、表面はスエード素材に「FF」ロゴモチーフをONしたアイコン的なアフタースキーブーツ。スノーエリアでも抜群の暖かさが優しく包み込む。ブーツ¥162,800(フェンディ/フェンディジャパン) **5.Jimmy Choo** ニットウールを使用した柔らかくエフォートレスなシルエットはゲレンデにもマッチ。トップハンドル、クロスボディ、ショルダーと多彩にアレンジできるのも魅力。バッグ“シンチ”[W35×H13×D16cm]¥293,700(ジミー チュウ) **6.Balenciaga** 900gの厚い中綿を使用したテクニカルなジャケット。アニマルフリーファーの襟&クロップド丈がモード感を演出。ジャケット“SKI パファー”¥634,700[予定価格](バレンシアガ/バレンシアガ クライアントサービス) **7.Giorgio Armani** ゴートレザーにラムのシアリングを施したモフモフブーツは、さらに甲の上にあらったカーフレザーベルトがポイント。ブーツ[H1.5cm]¥517,000(ジョルジョ アルマーニ/ジョルジョ アルマーニ ジャパン) **8.Moncler Grenoble** ウィンタースポーツのためにデザインされたパディング入りグローブ。雪山での快適さと機能性を追求したスキーのマストハブアイテム。グローブ¥126,500(モンクレール グルノーブル/モンクレール ジャパン) **9.Saint Laurent** フランスの「ERETIC」とのコラボ“スクート”が登場。軽快な操作で雪上を自由自在に駆け抜ける新体験を楽しんで。スクート¥220,000(サンローラン バイ アンソニー・ヴァカレロ/サンローラン クライアントサービス)



Power in Time

新しい自分へ導く、  
私だけのパワーウォッチ

ホリデーシーズンの余韻に浸りながら、  
次に訪れる新しい年への  
期待に膨らむ今、自分らしく輝くための、  
とおきのウォッチをラインナップ。  
自信を与え、日常に力を宿す  
魅力的なパワーウォッチを見つけて。

direction: Miyuki Kikuchi  
text: Tomoko Kawakami  
WG=ホワイトゴールド、YG=イエローゴールド、  
PG=ピンクゴールド、RG=ローズゴールド、  
SS=ステンレススティール



1



2



3



1



2



3



7



6



5



4



6



5



4

**1.Patek Philippe** 優美なローズゴールドの新作ウォッチは、永久カレンダーを極めて薄く仕立てたモダンでフェミニンな一本。繊細なダイヤルとブレスレットの一体感が女性の手元も品よく彩り、タイムレスな存在感を放つ。時計「7340/1R」[RG、ケース径36mm、自動巻き]¥19,260,000（パテック フィリップ / パテック フィリップ ジャパン・インフォメーションセンター） **2.Rolex** 小さな7列のリングで構成されたブレスレットは、その革新的な形状によってエレガントな表情と快適な着け心地を実現。控えめで美しいホワイトダイヤルにポリッシュ仕上げを施したイエローゴールドが映え、手首を華やかに彩る。時計「パーペチュアル 1908」[YG、ケース径39mm、自動巻き]¥5,273,400（ロレックス / 日本ロレックス） **3.Vacheron Constantin** ピンクゴールドのケースとマザーオブパール、そしてダイヤモンドのベゼルが美しく調和。上品なサイズ感が女性の手首に馴染みながら、複雑な機構の気配を感じさせて、装いを格上げする。時計「エクストラフラット・パーペチュアルカレンダー」[PG×ダイヤモンド×マザーオブパール、アリゲーターストラップ、ケース径36.5mm、自動巻き]¥16,016,000（ヴァシロン・コンスタンタン） **4.Breguet** 創立250周年を記念した特別なレディスウォッチ。ギョシュ彫り施した文字盤やサイズが違ふ52個のダイヤモンドをセッティングしたセンターラグなど、「ブレゲ」の超絶技巧を詰め込んだ装飾が高揚感を誘う。時計「レヌ・ドゥ・ナール 9935」[プレゲゴールド×ダイヤモンド×マザーオブパール×ベンチュリン、アリゲーターストラップ、ケース径36.5×28.5mm、自動巻き]¥9,427,000（ブレゲ / プレゲ プティック銀座） **5.Omega** ゴールドとバーガンディのダイヤルがエレガントに調和した新作。ベゼルを飾る46個のダイヤモンドの煌めきもアクセントに、高度な精度を誇るムーブメントを搭載しながら30mmというコンパクトなサイズ感を実現。時計「シーマスター アクアテラ 30MM」[18Kセドナゴールド×バーガンディダイヤル×ダイヤモンド、ケース径30mm、自動巻き]¥6,006,000（オメガ） **6.Longines** 月のパワーを宿した新作は、48粒の厳選されたサファイアをベゼルにあしらって、幻想的な天空を想起させるブルーのフェイスには、14粒のダイヤモンドのインデックスが煌めき添える。時計「ロンジン プリマルナ」[SS×ブルーサファイア×マザーオブパール、アリゲーターストラップ、ケース径34mm、自動巻き]¥954,800（ロンジン） **7.Grand Seiko** 独自のデザイン哲学を継承しながら、現代的な解釈を加えた新作。鏡面の美しいホワイトゴールドのケースに、清涼感あるアイスブルーのグラデーションダイヤルで洗練された品格と自然な時の流れを体現。時計「Heritage Collection SLGA027」[WG、ケース径47.4×40mm、自動巻き]¥8,800,000（グランドセイコー / セイコーウォッチお客様相談室）

蠍座scorpio10月23日→11月21日★1月中旬までは調べ物、読書など知的な刺激を与えていくことが活性化。洞察力もいつも増し鋭くなる時気になることは周りを巻き込んで情報を広げていくことが鍵。

天秤座libra9月23日→10月22日★慌ただしい喧騒から離れて自分の家や家族との時間を充実させることが活性化。1月3日の満月はプライベートと外での活動のバランスを見極める良い機会になりそうな予感。

**1.Cartier** 1912年の誕生以来、メゾンの創造性の証である「ペニュワール」。オーバルラインの優美なフォルムに286個のダイヤモンドが輝くピンクゴールドケースが魅力。レッドのアリゲーターストラップで女性らしく。時計「ペニュワール」ウォッチ [PG×ダイヤモンド、アリゲーターストラップ、ケース径36×26mm、クォーツ] ¥6,336,000（カルティエ / カルティエ カスタマー サービスセンター） **2.Bvlgari** 「ブルガリ」のシンボルである蛇をモダンかつミニマルなデザインに昇華。流れるようなフォルムに、ハイジュエラーが誇る手仕事でダイヤモンドをちりばめ、まるでアートピースのようなオーラを放つ逸品に。時計「セルペンティ エテルナ」 [PG×ダイヤモンド、ケース幅24mm、クォーツ] ¥11,671,000（ブルガリ / ブルガリ・ジャパン） **3.Chanel** J12のデビューから25年の節目に登場した33mmケースの新作。バゲットカット ダイヤモンドを配したダイヤルと、ブレスレットには初となるセラミック×イエローゴールドの組み合わせを採用。華やかさとモダンな強さが共存する。時計「J12 キャリバー 12.2」 [YG×高耐久性セラミック×ダイヤモンド、ケース径33mm、自動巻き] ¥5,181,000（シャネル / シャネル カスタマー ケア センター） **4.Van Cleef & Arpels** 1968年に登場して以来、幸運の象徴として愛されてきたアルハンブラ モチーフ。ブルーカルセドニーの柔らかな半透明の輝きが四つ葉のデザインに静かな気品を添える。時計「スウィート アルハンブラ ウォッチ」 [WG×カルセドニー×ダイヤモンド、ケース径22.7×22.7mm、クォーツ] ¥6,085,200（ヴァン クリーフ&アーペル / ヴァン クリーフ&アーペル ル デスク） **5.Chopard** 粒子がちりばめられたディープブルーの文字盤を囲むのは、マーキースカットダイヤモンドを全面にあしらったベゼル。「ジョハール」独自のクラウンセッティングにより輝きが際立って。時計「ルール・ドゥ・ディアン」 [エシカルWG×ダイヤモンド、ケース径28mm、手巻き] ¥9,966,000（ジョハール / ジョハール ジャパン プレス） **6.Hermès** 文字盤を飾るのは、手作業で彫刻し、彩色した真鍮製の馬「リリガーアクション」。ミニアチュールペインティングを施した手彫りのモビールの馬の生き生きとした表情が印象的な時計は、12本の世界限定品。時計「アルソー ロカバルドゥ リール」 [WG、アリゲーターストラップ、ケース径41mm、自動巻き] ¥27,984,000【予定価格】（エルメス / エルメスジャパン）

乙女座virgo8月23日→9月22日★心から楽しむことがツキに繋がる時期。肩の力を抜いて日常をのびのび過ごすことが活性化。1月末以降は長年曖昧だった人との距離感、関係性がクリアに導ききされる暗示。

射手座sagittarius11月22日→12月21日★あなたの持つスキルが価値へと変わる。今まで手掛けてきたことを収穫するような現実的な手応え、報酬に変わりやすい。習得してきた技術や語学で人と関わることで臨時収入になる人も！





山々に囲まれた豊かな自然の風景を背景に撮影された広告ビジュアル。今回登場した限定色には美しい自然やシンプルさへの賛辞が込められている。シンプルな表情の中に土が持つ温かなニュアンスが漂う「クレイ」。そして「テラコッタ」は、古代から伝わる窯で焼かれた陶器を想起させる



# RIMOWA

## 「リモワ」の定番“Essential”に2つの新色 自然の美しさを纏う 洗練された旅へ

ドイツ発のラグジュアリーラゲージブランド「リモワ」。  
その独自のクリエーション哲学を強く反映した  
人気の定番シリーズ「エッセンシャル」から、  
自然の普遍的な美しさを着想源にした  
2色のシーズン限定カラーが登場。

photos: ©RIMOWA  
text: Tomoko Kawakami

**伝** 統的なクラフトマンシップを継承しながら、現代のトラベラーに寄り添う高い機能性とシンプルなデザインで、世界中から愛されるプレミアムラゲージブランドの「リモワ」。

中でもその軽さと耐久性、さらにミニマルで都会的な佇まいが人気のポリカーボネート製スーツケース“Essential（エッセンシャル）”は、「リモワ」の美学と実用性を体現するアイコンックなコレクションだ。今回、その“Essential”から、シーズン限定色「テラコッタ」と「クレイ」が登場。大地を想起させるアースレッドが特徴の「テラコッタ」は、エレガントでありながら、深みと温かみを纏い、コーディネート差しの個性と美意識をさりげなく主張できるカラー。空港の喧騒の中でも一瞬で目を引き、旅のムードをぐっとおしやれに演出してくれる。一方の「クレイ」は、どんなスタイルにも溶け込むニュートラルな存在感が魅力。深みとニュアンスのあるグレイッシュベージュが絶妙で、ミニマルな装いと合わせれば、抜け感のあるモダンなトラベルスタイルが完成する。

どちらのカラーもさりげなく特別感が漂い、空港でもホテルでも“一目置かれるキーピース”になること間違いない。持つだけで旅の装いを格上げし、移動時間までも洗練されたひとときに変えてくれる、新しい旅のパートナーだ。



既存の“Essential”同様、無段階調節可能なテレスコープハンドル、独自のマルチホイール®システムなどを搭載。リモワの最先端技術と伝統的なクラフトマンシップが光る仕上がり。旅を網羅する4サイズが揃う。“チェックインM”は「テラコッタ」のみ、“チェックインL”は「クレイ」のみの展開。“Essential キャンビン” [W39×H55×D23cm / 36L] ¥143,000 “Essential チェックインM” [W44.5×H67.5×D24cm / 60L] ¥165,000 “Essential チェックインL” [W51×H77.5×D26.5cm / 85L] ¥179,300 “Essential トランク プラス” [W41×H80×D37cm / 101L] ¥226,600（すべてリモワ／リモワ クライアントサービス）



1.彫刻や絵画が展示された荘厳な空間に、ブランドの代名詞でもあるグレーのテラードスタイルやドレスなど、代表作が静かに並ぶ 2.壁画のある空間に佇む一体のアーカイブ。空間と展示の妙が、服の物語を浮かび上がらせる



3.回顧展にありがちな年代別ではなく、色や素材、さまざまな視点で選ばれた服たちが並べられ、時代を超越したスタイルを印象付ける 4.アルマーニが愛したカラー“ミッドナイトブルー”で彩られたアーカイブが、同色の壁面や幻想的な絵画と一体となり、圧倒的な美しさに魅了される空間

# GIORGIO ARMANI

## ミラノ・ブレラ美術館で体感する 「ジョルジオ アルマーニ」50年の美学

「ジョルジオ アルマーニ」創設50周年を記念する特別展がミラノのブレラ美術館で開催中。  
アルマーニが生前に深く関わった最後のプロジェクトは、  
芸術と静謐なエレガンスが響き合う、心揺さぶる世界へと誘う。

photos: @agnese\_bedini @melaniadallegrave @dsl\_studio

ミラノを代表する芸術の殿堂・ブレラ美術館で、今年ブランド創設50周年を迎えた「ジョルジオ アルマーニ」の創造の軌跡を辿る特別展「Giorgio Armani: Milano, per Amore」が開催中だ。同美術館でファッション分野の展示が本格的に行われるのは今回が初めて。中世から19世紀の名画が並ぶ空間に、アルマーニが生涯をかけて磨き上げた“静かな力”を宿すエレガンスが、深く響き合う。

### 展示の細部にまで宿るアルマーニの美意識

ブランド創設50周年の節目となる今年、ファッション界はジョルジオ・アルマーニの逝去という大きな喪失に見舞われた。しかし、この展覧会はアルマーニが生前から綿密に指揮し、展示方法から構成にいたるまで深く関わってきたプロジェクトであり、その思考と美意識が細部まで息づいている。そもそもアルマーニは、自身の創作を単なる表現にとどめず、未来へ橋渡しする文化的営みとして捉えてきた。そうした姿勢を象徴する言葉を、彼は自伝「Per Amore」に残している。「展覧会には二つの見方があります。創り手としての自我が満たされる即時的な喜び。もう一方は、教育的な価値。自らの仕事を通じて、大衆に、そして何より若きクリエイターたちに贈られるかけがえのない証言です。

それは長く、深い満足をもたらします。私が関心を抱くのは、この後者の側面なのです。この言葉の通り、本展からは“創作の記録を未来へと手渡す”という彼の静かな意志が確かに感じられる。会場には、120点を超えるアーカイブピースが並ぶ。テラリングの革新、削ぎ落とすことで立ち上がる装飾性、ニュートラルな色調に潜む陰影。透明なマネキンを用いることで、服に内在する“身体”の気配を想起させる展示手法も、アルマーニがかつての回顧展から受け継ぎ、今回改めて示したかったこだわりだ。芸術作品との共鳴を意図したレイアウトは、アルマーニが愛してやまなかったブレラ地区への敬意でもある。

### 「ARMANI/Archivio」から厳選されたアーカイブ

本展の核となるのが、「ジョルジオ アルマーニ」の創作を体系的に保存・研究するアーカイブプロジェクト「ARMANI/Archivio」。6,000点を超えるルックや資料、広告、メディア記事を網羅した詳細なアーカイブで、ブランドのコードや価値観の変遷を読み解く羅針盤の役割を果たす。8月にデジタルプラットフォーム上に57ルックが一般公開され、今後定期的に内容が入れ替わる予定で、未来のクリエイターや研究者にとっても重要な資料源となるだろう。

本展では、この「ARMANI/Archivio」から厳選されたアーカイブピースが、美術館の名画と呼応するように配置されている。芸術史とファッション史が対話し、その空間は驚くほど自然に、あるいは必然のように「ジョルジオ アルマーニ」の世界と調和。アルマーニが生前に込めた思いが展示全体に静かに流れ、観る者はその余韻に包まれる。この冬、ミラノを訪れるなら、ブレラ美術館で開催中の本展は必見。アルマーニが最後まで貫いた美の哲学を、この特別な場所でぜひ体感してほしい。



5,6.会場では繊細なビーズ刺繍が際立つイブニングも多数展示。卓越したクラフトマンシップが息づき、アルマーニがイブニングに注いだ情熱と評価の高さを実感させる

「Giorgio Armani: Milano, per Amore」  
会期: 2026年5月3日(日)まで  
会場: ブレラ美術館(ピナコテカ・ディ・ブレラ)  
(Via Brera 28, Milano)  
開館時間: 火曜～日曜 8:30～19:15



# HOSHINOYA Tokyo

## 日常のすぐ隣にある非日常 「星のや東京」で 出会う “和のラグジュアリー オアシス”

都心のビル群のただ中に、江戸小紋柄の  
ファサードが目を引き一棟が凜と佇む。  
ひとさわ静謐な存在感を放つ  
「星のや東京」は、伝統と現代性が  
美しく交差する、大都会の聖域だ。

text: Jun Makiguchi

大きな青森ヒバの扉を抜けた瞬間、まるで別  
世界へ迷い込んだような錯覚に包まれる。  
イグサの香りとはのかなお香の薫りが心をほつき、  
自然と深い呼吸を誘う。季節の花々がしつらえられた  
天井高約5.5mの開放的な玄関が、穏やかな歓迎の  
気配で訪れる者を包み込む。日常から非日常へ――  
その境界線がここにある。

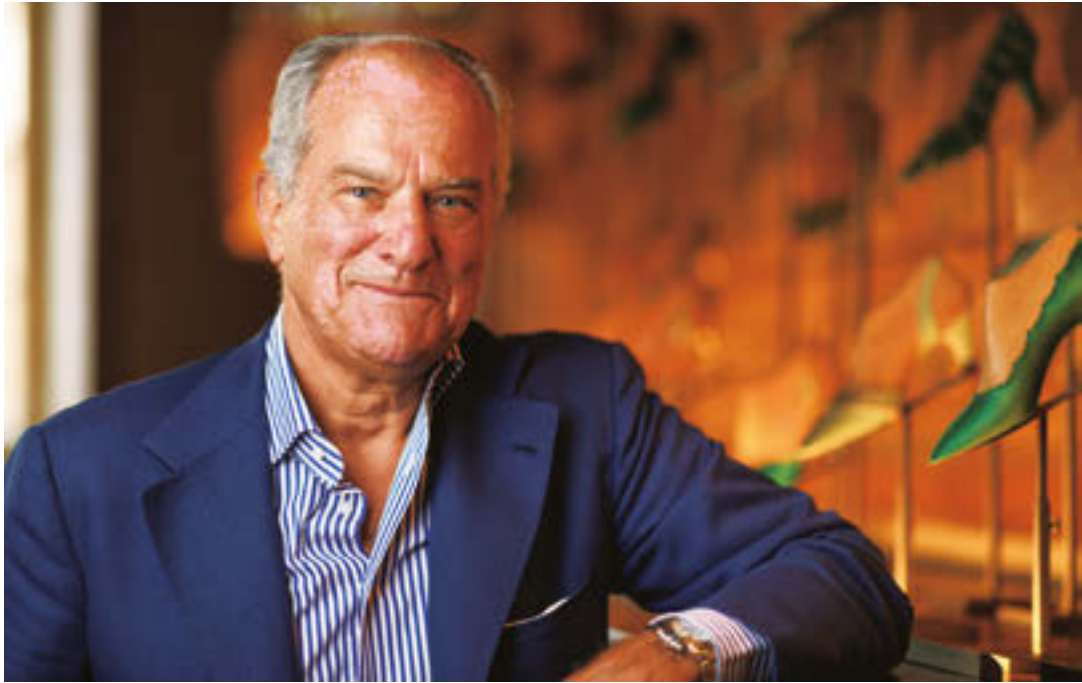
靴を脱ぐという小さな儀式を経て感じるのは、畳  
の感触、木の温もり、漂う静けさ。足裏から五感がほ  
どけていく。館内ではダイニングを含むすべての場  
所で裸足のまわくつろげるのが、この宿ならではの贅  
沢だ。

「星のや」は、“その瞬間の特等席へ。”をコンセプト  
に展開するブランド。地域の個性を生かした独創的  
なテーマとまでなして、世界各地から訪れるゲストた  
ちを圧倒的な非日常へと誘ってきた。

オフィス街・大手町に佇む「星のや東京」は、「もし  
日本旅館が東京にあったなら」という発想から生ま  
れた。最上階には天然の大手町温泉。地下には宿  
泊者専用のダイニング。14層の各客室フロアには6  
つの客室と各階専用リビング「お茶の間ラウンジ」  
が。各フロアがひとつの小さな旅館のように構成さ  
れ、それらが積み重なり“塔の日本旅館”と称される。

都会の真ん中で本格的な日本文化に触れ、季節  
のうつろいを五感で感じる。日常のすぐそばにある非  
日常は、現代を生きる私たちへのご褒美だ。疲れを  
癒やす週末ステイは、あえて遠くに出かけずとも東京  
で叶う、和の静けさと美の滞在を。すぐそばで、“その  
瞬間の特等席”が待っている。

日本ならではのもてなしの美学を極めた「星のや東京」。玄関の壁一面には、  
竹と栗の木で仕上げられた下駄箱が、日本旅館の繊細な趣と、モダンな  
洗練さが感じられる空間だ



Leonardo  
Ferragamo  
レオナルド・フェラガモ  
サルヴァトーレ・フェラガモ 会長  
サルヴァトーレ&ウィンダ・フェラガモ夫妻の  
第五子として生まれる。ローザンヌの  
IMEDEとコロンビア大学で経営と  
財務を学び、20歳で  
サルヴァトーレ・フェラガモ社に入社。  
メンズシューズ事業と  
メンズ部門を立ち上げ、  
後に欧州・アジア部門CEOとして  
ブランドの国際展開を主導。  
現在はサルヴァトーレ・フェラガモ社の  
会長を始め、フェラガモ家の  
持株会社のCEOや会長を務める。  
また、文化支援にも  
積極的に取り組んでいる。

## FERRAGAMO メゾンを支える創業家の眼差し 時代を超えて飛躍を続ける「フェラガモ」

イタリアのラグジュアリーブランド「フェラガモ」で会長を務めるレオナルド・フェラガモが来日した。  
創業者である父親とともに歩み、今ではメゾンを牽引する存在となった彼が「フェラガモ」の今、そして未来を語る。

photos: ©FERRAGAMO  
text: Tomoko Kawakami

イタリア・フィレンツェで1927年に誕生したラグ  
ジュアリーファッションブランド「フェラガモ」。現在、  
その会長を務めるのは、創業者、サルヴァトーレ・  
フェラガモの息子であるレオナルド・フェラガモだ。日  
本市場にとっても愛着があると話す彼が久しぶりに来  
日し、インタビューに答えてくれた。

「『フェラガモ』が日本に上陸して60年以上が経ち  
ました。長年、日本でのビジネスを見守ってきた私に  
とって、この国はととても特別で、アジア市場の中心  
的な存在。私は、今でも訪れる度に文化やスタイルに  
刺激を受けます」

### 家族だからこそ価値観を共有できる

創立から100年近い歴史を持つ数少ない同族企  
業として成功を取めている「フェラガモ」。靴作りに  
真摯に取り組む父親、サルヴァトーレの背中を見て  
育ったレオナルドは、「家族だからこそ、父が重んじ  
た価値観を共有できるし、そこから逸脱しないように  
コントロールもしやすい。今では家族も増え、希望者  
皆ではなく、適性があるものだけが働くようになって  
います」と語る。

サルヴァトーレが厳格に守ってきたエレガンス、  
履き心地の快適さを含む機能性、さらに品質という  
3つの要素は今でもメゾンを支える屋台骨だ。「エレ  
ガンスと機能性は対立関係にある要素ですが、その  
緊密なバランスこそが『フェラガモ』の靴の核ですし、  
すべての均衡を保つことに私たちは一切の妥協を  
許さない。お客様が履いてみたいと思うもの、さらに  
耐久性に優れているベストな靴を“適正な価格”で  
提供することにとても注力しています」

### 職人たちはメゾンの宝

その「フェラガモ」のクリエイションを支えているの  
が、メゾンの誇るクラフトマンシップだ。「“手仕事  
を存分に発揮した靴といえばイタリア”という常識を  
世界に広めたのは父だという自負がある。彼はイタ  
リアの伝統的なクラフトマンシップのパイオニアでし  
た。今でも職人たちはメゾンの宝。幸運なことに我々  
の自社工房には、若い世代も多くいます。彼らはとて  
も意欲的で熟練の職人から仕事を学び  
たい、技を受け継ぎたいと切磋琢磨して  
いる。若い職人の育成も我々に課せられ  
た重要なミッションだと考えています」

### ブランドを発展へと導く新たな存在

「フェラガモ」は2022年、ブランドの新たな  
クリエイティブ・ディレクターに、当時弱冠26  
歳の若手デザイナー、マキシミアン・デ  
ヴィスを抜擢。伝統と革新を融合させたコ  
レクションで高い評価を得ている。2026年春夏コレ  
クションでは、メゾンが設立された1920年代に着目。  
「フェラガモ」のアーカイブに加え、彼の視点で捉えた  
多様な要素を調和させたスタイルを披露した。

「彼の美的感覚、エレガンスに対する感性は非常  
に優れている。とても勉強家で、我々のDNAを新鮮  
なクリエイションへと昇華してくれて、それはメゾン  
が今後も発展していく強い推進力になります。さらに  
それらがうまく循環していくことで、我々の長い歴史、  
伝統とヘリテージに裏打ちされた強固な未来へと続  
いていく。マキシミアンが描くビジョンは、『フェラガ  
モ』の未来へのロードマップでもあるのです」



マキシミアン・デヴィスが  
手がけた「フェラガモ」の  
2026年春夏コレクション。  
メゾンが設立された1920年代に  
回帰しながら、彼ならではの  
研ぎ澄まされた感性で  
モダンに再解釈したルックを発表。  
「フェラガモ」の“今”を  
鮮やかに描き出す



静寂の中で堪能する、  
江戸前の粋と技  
「鮨 大手門」

今年3月、メインダイニングの一角に誕生した、  
カウンター 8席のみの「鮨 大手門」。

“日本旅館の江戸前鮨”をコンセプトに、日本料理  
の研鑽を積んだ料理長が手がける酒肴と鮨を、和  
の空間で味わえる。伝統的な江戸前の技法を大切  
にしながら、日本各地の鮨文化を取り入れた独創的  
な握りも楽しめるのは、ここが東京であるからこそ。職  
人の所作、器の美、旬のネタ——五感で江戸前の  
粋や鮨の奥深さを堪能できる。もちろん、こちらも裸  
足に館内着のままで。食事を終えたら、そのまま温泉  
へ、あるいは客室やラウンジでゆったりと余韻を楽し  
む。時間を気にせず、美味とともに夜をほどく。それ  
が、日本旅館にある鮨屋ならではの贅沢だ。

1名¥36,300(税・サービス料込み 要予約)



1.繊細な技術と感性から生まれる鮨  
を白木のカウンターで。樹齢200年を  
超える青森ヒバの一枚板が凛とした  
空間に映える 2.鯉の巻物 3.マグ  
ロは江戸前鮨の定番である「赤身の  
早漬け」で 4.職人技が光る江戸前  
鮨の象徴「小肌の酢締め」も



1.旅館滞在の大きな楽しみのひとつ、朝食。一日を心地良く  
始められるよう、心身の目覚めを促すメニューが並ぶ 2.オリ  
ジナルの漆器は、禅宗の修行僧が使う応量器の柔らかいフォ  
ルムを採用。食をとりまくすべてが、和の体験に



五感で味わう朝食で  
美しく整う一日を  
「めざめの朝食」

美 食の旅の締めくくりは、日本料理の基礎に  
ある「五味・五色・五法」を取り入れ、心と身  
体のバランスを整える「めざめの朝食」を。美味しさ  
はもちろん、旬の食材が持つ力を引き出し、身体を  
内側からやさしく目覚めさせてくれるメニューが並  
ぶ。穏やかな一日を始められるよう、器にもこまやかな  
心配りが。日本料理の原型である「本膳料理」になら  
い、オリジナルの漆器で提供されるのだ。1本の木か  
ら切り出された入れ子状の5種の器は、艶やかな光  
を湛え、手にした瞬間、しっとりとした温もりを伝え  
る。朝の静けさの中で、五感をゆるやかに呼び覚ます  
——。そこにもまた、日本の美と、心を満たす贅沢が  
息づいている。

1名¥9,680(税・サービス料込み 要予約)

日本を巡る美食旅を、ここ東京で  
「メインダイニング」



地下1階のメインダイニングでは、大きな御影石に迎えら  
れる。内装は地層や江戸城の石垣をイメージ

国 内外の旅人を非日常へと誘ってきた「星の  
や東京」に、新たな話題が加わった。館内の  
メインダイニングがリニューアルし、「もう作られなく  
なった日本の家庭料理」をテーマにしたディナー  
コースが登場。ファストフードの普及などで姿を消し  
つつある家庭料理に光を当て、独創的な感性と技  
術で現代的に再構築した11品が並ぶ。

総料理長・岡亮佑シェフはこう語る。  
「昔の料理は“生きるための知恵”として生まれたも  
のが多い。だからこそ、ただ再現するだけでは意味が  
ないんです。でも、伝統の味は何かしらの形で残した  
い。廃れてしまった料理も、視点を変えれば美味し  
いと感じていただけるかもしれない。郷土料理の新  
たな可能性を知っていただくきっかけになればと  
思っています」

料理の前には元となった郷土料理の解説が描か  
れたポストカードを手渡すなど、感性をくすぐる仕掛

けも。郷土料理がどん  
な“変身”を遂げるの  
か、一皿を待つ時間さ  
え楽しい。

「北は塩蔵や発酵の知恵、南は多彩な食材と中国  
の影響など、同じ日本でも全く異なる食文化がある。  
それらをコースにできるのは、足し算の料理であるフ  
ランス料理だからこそ」とシェフ。

コースは、さながら北から南まで日本各地の食文  
化を巡る旅のよう。和の温もりに包まれたメインダイ  
ニングで、館内着に裸足のままりラクシングな美食  
体験が叫ぶのだから、嬉しい限りだ。

「料理を味わい、温泉に入り、そのまま布団へ。そん  
な滞在を通じて、日本の旅館文化の素晴らしさを改  
めて感じていただけたら嬉しいです」

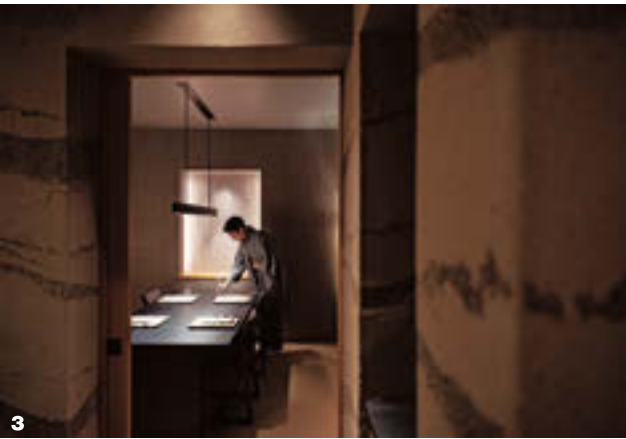
東京にしながら、郷土を巡る“食の旅”を楽しんで  
みてはいかがだろう。



愛知県の鶏肉のすき焼き鍋「ひきずり」から。割り下に漬け込んだ鶏肉で椎茸や生麩を包み、菊芋のビュレと春菊のソースを添えて



総料理長・岡亮佑  
1985年生まれ、滋賀県出身。2005年より、神戸北野ホ  
テルやレストランオマージュ、ピエールガニエールなどでフ  
ランス料理の研鑽を積み、2023年5月1日より現職。「その  
土地でしか創ることのできない料理を追求する」を信条  
に、伝統と独創的な感性を融合させた新しい料理の開発  
を続けている。



1.全国各地の家庭料理を冬ならではの食材で現代的に再構築。北海道の郷土料理に着想を得たひと皿。スケトウダラの白子を使用したかまぼこ「たちかま」から。2.蜜柑ともち米を蒸し  
上げ、ついて食べる和歌山の郷土料理「蜜柑もち」から生まれたデザート 3.落ち着いた空間で五感を刺激する美食の旅を。8種もしくは4種から選べるワインペアリングもおすすめ 1名  
¥33,880(税・サービス料込み 要予約)



# Christofle

## 200周年へ向かう 老舗メゾンが見つめる “美しい暮らし”

1830年の創業以来、世界の暮らしにエレガンスをもたらしてきた「クリストフル」。

200周年を目前に控えた今、ハムディ・シャティ新CEOが語る、伝統と革新が交差する老舗メゾンのヴィジョンとは。

text: Jun Makiguchi

**創業195年のいま、200周年に向けて計画されていることは？**

「青山店を新コンセプト“レトロ・フューチャリズム”でリニューアルしました。ヘリテージを現代的に再解釈した空間で、今後は日本の全ブティックをこのコンセプトに統一していきます。200周年まであと5年。その節目に向けた準備を進められる、特別な時期に立ち会える深い幸福感を覚えています」

**「クリストフル」のブティックが他ブランドと異なる点は？**

「私たちは“ホームそのもの”を提案するブランドです。家というのは、あなたご自身です。お客様との関係はとても親密だからこそ、その方のスタイルに合わせて、『マルメゾン』や『ヴェルティゴ』など、違うラインを組み合わせでご提案できるのです」

**シグネチャーの「ムード」が10周年を迎えました。魅力を教えてください。**

「私たちが目指すのは、“アール・ド・ヴィーヴル（美しい生き方）”の提案です。『ムード』は、現代的なアール・ド・ヴィーヴルの象徴。中央にまとめたカトラリーをそれぞれ取って伝統的なセッティングにすることも、直接必要なものを選んで使うこともできる。使う人が好きに選べるのが面白さですね」

**エンジニア出身というバックグラウンドは経営に活かしていますか？**

「職人の思考や構造への理解は、ブランドの美意識を守るための重要な基盤になっていま



ハムディ・シャティ 新CEO  
マイクロテクノロジーと時計製造の学位、ラグジュアリーマーケティングの修士号を取得。「カルティエ」でキャリアをスタート。「ピアジェ」、「モンブラン」、「ハリー・ウィンストン」で幹部職を歴任。「ルイ・ヴィトン」ではウォッチ&ジュエリー部門を率いた。  
「我々がやっているのは、美の探求です。美しいものを作り、提供し続けることが人々の幸福につながる。それを信じています」



BOUTIQUE CHRISTOFLE AOYAMA クリストフル 青山本店  
東京都港区北青山3-6-20 営業時間: 11:00～19:30 tel: 03-3499-5031  
定休日: 年末年始

伝統的にもモダンにも使える柔軟さがある「ムード」。そこから“その人だけのアール・ド・ヴィーヴル”が生まれる。和食でも使える箸や箸置きもセッティングされた「ムード アジア」も。¥297,000



**歴史的にも世界の王侯貴族の「リュクス」とパワーの象徴であるシルバーウェアを提供し続けてきた「クリストフル」が考える真のリュクスとは？**

「それは幸福です。美しいものを使うと心が満たされます。特別なカトラリーを使う、お気に入りのカップでお茶を飲む。そうした小さな習慣に幸福が宿る。だから我々は美にこだわるんです。美しいものを通じて幸福感を届けるからこそ、『クリストフル』の使命だと考えています」



フォーマルなシーンでも映えるクラシカルな美しさ。マルメゾン シルバープレート製 キャビアサービスセット ¥191,400



スナックやソースなどを分けて入れるのにぴったりなサービングディッシュ。マルメゾン 三分割サーバー シルバープレート¥140,800



「中に入っているのはコーヒーですが、特別なものになります」とシャティ新CEO。ミラーオブジェ ステンレスポータブルマグ コーヒーカップ ¥58,300。シルバーコーティングされたものも（ストロー／スリープなし） ¥147,400



フェスティブシーズンテーブルで大活躍しそうなヴェルティゴ(上)シルバープレート製(20×16cm)トレイ ¥67,100(下)シルバーコーティング1手付き(20×16cm)トレイ ¥60,500

## 心を整え、感性を磨く。「星のや東京」の体験美学

日本旅館の精神とおもてなしを現代の感性で昇華させた「星のや東京」。都心にいながらにして、今の日本文化を深く体験することができる。和の温もりが息づく空間で、心と身体を解き放つ。

### 現代人のための“都会の湯治場”

「塔の日本旅館」の最上階にあるのは、地下1500mから汲み上げる天然温泉「大手町温泉」。

内湯からそのまま続く露天風呂は、格子を通して街の気配や風が届く空間。空へ抜ける天窓からは、日中は柔らかな光と雲の流れを、夜はきらめく星空を仰ぐこともできる。ここは、喧騒のすぐそばにありながら、静寂と自然、季節の移ろいや、時間によって変化する空気を感じられる“都会の隠れ湯”だ。温泉入浴で心身ともにほぐれた後は、季節の植物を使用したスパトリートメントも。この土地から湧き出る湯に身を預け、東京という街のエネルギーを、心と肌で感じてみては。



照明を落とし落ち着いた雰囲気の内湯から露天風呂へ。露天風呂では、開かれた窓越しに届く都会の遠い喧騒さえ、どこか心地よく響く



〈上〉東京を眼下に朝の清らかな空気の中で行うのは「北辰一刀流」師範監修のオリジナル稽古  
〈下〉日本の三大芸道のひとつである「香道」も気軽に体験できる

### 江戸・東京を感じる知的アクティビティを

大手門に由来する名を持つ大手町にあることから、江戸・東京の情緒を感じる体験が用意されている。東京スカイツリーや東京タワーなど、都市を一望できる地上160mのビルの屋上で行うのは、剣術の動作と深呼吸を組み合わせた「天空朝稽古」(1名¥5,500 税・サービス料込み 要予約)。爽やかな一日のスタートにおすすめだ。平安時代に貴族の間で人気となり、江戸時代には武士や庶民にも愛された「香道」を現代版の香炉で行う「今様香合わせ」も。3種の香木を「聞く」ことで、かすかな香りの違いを楽しむ(1名¥2,662 税・サービス料込み 要予約)。このほか、「季節の箱庭作り」や「伝統文化を楽しむタベ」「茶の湯体験」も。



各フロアにひとつお茶の間が。各階が小さな旅館をイメージさせ、静かな親密さに包まれる。同じ階に宿泊するゲスト限定のセミプライベートな空間だ

### くつろぎを分かち合うやすらぎの空間

日本らしいくつろぎを実現する「お茶の間ラウンジ」では、日本旅館ならではの“おもてなし”が、チェックインからチェックアウトまで穏やかに続く。到着時には、丁寧に淹れられた煎茶と季節の和菓子でお出迎え。湯気とともに立ちのぼる豊かな香りを味わいながら、お茶の淹れ方を教わるひととき。その温もりにはっとしつつ、美味しさに思わず驚かされる。出発前には、文香づくりでもてなしを受け、旅の余韻を持ち帰る。滞在中はいつでも立ち寄り、静かに過ごしたりゲスト同士で交流したり。“日本らしいくつろぎ”が、自然と心に染み込むような、そんな時間が流れる空間を存分に。

星のや東京

東京都千代田区大手町1-9-1 tel: 050-3134-8091 (星のや総合予約) 客室数84室  
料金: 1泊 ¥182,000～(1室あたり、税・サービス料込み、食事なし)  
<https://hoshinoresorts.com/ja/hotels/hoshinoyotokyo/>





2



1



4



3

1.ヴェルサイユ宮殿とのコラボレーションにより誕生した限定のワイングラスセット。それぞれ、4人の王妃をイメージした装飾が施されている。「クイーンズホールセット」¥99,000 2.代々受け継がれてきたメゾンのエスプリを感じさせる洗練のテーブルウェア。(左から)「トミー」ホックグラス フランネルグレイ¥94,600。創業当時、ワイン好きのために誕生した「ティスル」クッペル プラチナ装飾¥94,600。創業年を冠した「ツイスト1586」も伝統とモダンが融合した2015年誕生のコレクション。フレッシュビ リッツグラス¥29,700、ウォーターゴブレット¥24,200 3.(左から)すべてにシリアルナンバーが入った限定品のペーパーウェイト は世界中にコレクターが。「マリイ・アントワネット」2022¥797,500。「天使」クリスマススペシャル¥590,700 4.ベネチアン ストライプが美しい「アボロ」。フェスティブシーズンにもびっ तरीな優しい色のLEDキャンドルランプ。(左から) アメジスト ¥111,100、クリア¥89,100、シャルトルーズ ¥111,100



6



5

## 「サンルイ」の輝きを 身近に感じられる“光のメゾン”へ

国内唯一の路面店は、都心でありながら緑溢れる環境に。森を創造の源として礼賛してきた「サンルイ」にびっ तरीのロケーションだ。店内では圧巻のシャンデリアが優雅に煌めき、訪れる者を夢のような世界へと誘う。

5.現代のライフスタイルに寄り添うウォールライトも人気。木の枝を思わせる支柱を自由に繋げる、「フォリア」のモジュール・ウォールライト¥5,247,000 6. 伝統の継承に、革新は欠かせない。その象徴が、2015年に誕生した「ロワイヤル」。シャンデリアの伝統を現代に再解釈し、サイズやパーツ、光の色を選んで、1万5000通りの中から自分だけの灯りを¥29,513,000



サンルイ麻布台ヒルズ店  
東京都港区虎ノ門5-9-1 麻布台ヒルズ ガーデンプラザB 1階  
tel: 03-5843-8678  
営業時間: 11:00~19:00

1586年以来、世界最高峰のクリスタルを生み出し、光と影を巧みに操りながら、人々の暮らしに輝きを添えてきた「サンルイ」。1767年には、国王ルイ15世から「聖王ルイ9世」にちなみ「サンルイ王立ガラス工房」の称号を授与された。工房があるのは、パリから東へ約400km、深いヴォージュの森に抱かれたサンルイ＝レ＝ピッチュ村。原料の珪砂、清らかな川の水、植物がもたらす灰――そのすべてが上質なクリスタルづくりに欠かせない恵みだ。そして何より、美しい自然の風景こそが、すべてのコレクションのインスピレーション源となっている。

もうひとつ欠かせないのが、長く受け継がれてきた匠の技と、その担い手である職人たち。M.O.F(フランス国家最優秀職人章)の称号を持つ熟練者たちが、シャンデリアやテーブルウェア、ベース、ペーパーウェイト

などを丹念に生み出す。

製作はすべて手作業。素材を炎に溶かし、形を与え、彫刻を施し、研磨と装飾を重ねる。その一連の工程に、400年以上受け継がれてきた技と誇り、美意識が宿る。だが、伝統を守るだけではメゾンのエスプリは守れない。進化を恐れず、新たな感性を取り入れる心意気こそが「サンルイ」が体現する「サヴォワールフェール(匠の技)」の真髄なのだ。

その精神を存分に体感できる空間が、2024年2月、麻布台ヒルズにオープンした国内唯一の路面店。メゾンを象徴するシャンデリアをはじめ、「サンルイ」の卓越した職人技を感じるコレクションが並ぶ。一歩足を踏み入れれば、光が織りなす芸術に圧倒されるはず。日常に魔法をかける永遠の輝きに、ここでならきっと出会えるだろう。

# SAINT-LOUIS 日常に魔法をかける クリスタルの煌めき

フランス北東部、モーゼル県・北ヴォージュの森に佇む老舗メゾン「サンルイ」。  
430年以上もの歴史を誇る名門メゾンが、  
2024年、ついに日本初の路面店をオープン。  
その繊細で洗練された世界観がここに。

photos: Eri Hosomi text: Jun Makiguchi



クリスタルの輝き、光を映すカットिंग、複雑な模様が織りなす優美な煌めき。そのすべてが、自然と響き合う。コレクションの中でも、とりわけ森へのオマージュを感じさせる「フォリア」。(左から)どんぐりのようなフォルムが可愛いポータブルランプ ¥482,900 ウォーターグラス¥37,400 スモールタンブラー¥27,500 シャンパンフルート¥37,400 赤ワイングラス¥37,400



♊ Capricorn  
山羊座  
★12月22日〜1月19日生まれ

大切なのは「共感」と「対話」。  
周囲の人たちと絆を育む

「家族や居場所」を表す位置に、2026年2月14日、安定を司る星・土星がやってくる山羊座。この1年のテーマは、ズバリ自身の基礎を整えること。社会性を重んじる山羊座は、とすれば個人の意見より、組織の利益を追求しがち。しかし、この時期大切なのは、周囲との相互理解。唇にブラウンなど落ちついたアースカラーをまとい、家族や身近な仕事相手と対話を重ねよう。相手の立場に共感することで、あなたを支える人たちとの間に絆が生れるはず。4月24日に「健康」を表す位置に革新の星・天王星が訪れると、突然体調が乱れることも。生活習慣の改善やサプリの摂取など、体にいいことを実践する好機。ベースメイクにもスキンケア効果に優れたものを取り入れ、肌の調子を根本から整えてあげよう。自身を取り巻く環境を整え、周囲に味方を増やすことで、さらなる飛躍の土台が手に入るさき。



〈左〉ザ・ギンザ ハイブリッドデープロテクター n SPF35 PA+++ 30g ¥36,300 (26年1月3日SHISEIDO THE STOREにて先行発売、26年2月1日全国発売)／ザ・ギンザ 〈右〉NARS アフタグローリップバーム N 232 ¥4,180 (26年1月16日発売)／NARS JAPAN

♎ Libra  
天秤座  
★9月23日〜10月22日生まれ

テーマは人間関係の再構築。  
本当に大切な人と繋がろう

優れたバランス感覚を持ち、人づき合いが得意な天秤座は、とすれば自分よりも周囲の人のことを優先してしまいがち。2026年2月14日に現実化の星・土星が「対人関係」を表す位置に訪れると、パートナーシップの誠実さがテーマに。土星があなたに問いかけるのは、周りの意向ではなく「あなた自身はどうしたいのか?」という意志。自分軸で人間関係を見つめ直した結果、縁が切れる相手もいれば、「この人となら」と結婚を選択するケースもありそう。自分の本心や相手を観察する意味で、この時期は「アイメイク」に力を入れるのが正解。天秤座と相性のよいモーニング系で目元を際立たせ、凛としたまなざしで真実を見つめよう。さらに自分の意志を表現する意味では、ピンクのリップも頼もしい味方。唇を透かすヌーディなピンクは、気持ちこそ素直に言葉にする後押ししてくれるはず。



〈左〉ザ・リップトリートメント ベタル ¥9,350 (26年2月6日発売予定)／ラ・メール 〈右〉スターゲイジングアイシャドウアップD 09 ¥7,480 (26年1月1日発売)／THREE

♊ Aquarius  
水瓶座  
★1月20日〜2月18日生まれ

公私ともに人脈が拡大。  
創造的な活動にも追い風が

頭上に破壊と再生の星・冥王星が運行中の水瓶座は、このところプレッシャーを感じる場面が多かったはず。2026年は水瓶座の冥王星と、双子座の天王星が調和的な角度で繋がるため、心身ともにアクティブに過ごせそう。趣味の活動などを通じて意気投合する仲間が増え、いつの間にか仕事の縁に繋がっていくことも。クリエイティブな活動に風が吹く時期でもあるので、お誘いにはフットワーク軽く応じたい。そんな水瓶座には、出会った人の印象に残るような、個性的なメイクがおすすめ。水瓶座が象徴する近未来的な質感や、メタリックなシルバーの輝きを、ベースメイクやアイメイクに積極的に取り入れよう。6月30日に拡大の星・木星が「対人関係」を表す位置に訪れると、ドラマティックな出会いも期待できそう。ただし、ときめきを感じても、危険な相手には深入りしないよう気をつけて。



〈左〉RMK シンクロマティック アイシャドウバレット EX-17 ¥6,380 (26年1月9日限定発売)／RMK Division 〈右〉アンリミテッドブロック・ブースター アドバンストルミブル SPF50+ PA+++ 30mL ¥5,830 (26年2月20日一部店舗にて先行発売、26年3月4日全国発売)／シュウ ウエムラ

♏ Scorpio  
蠍座  
★10月23日〜11月21日生まれ

人生のターニングポイント。  
働き方や体調を立て直す

破壊と再生の星・冥王星の影響を受けて、このところ蠍座は「思いがけない展開」に遭遇してきたのでは? 仕事内容や立場の変化、引越しや家族のケアなど、人生の転機ともいえる事柄を経験したかもしれない。2026年その流れは続く気配が。そんな中でも、上半期は家族や仲間との交流により、救われる場面も多いはず。2月14日に現実化の星・土星が「雇用や健康」を表す位置に訪れると、働き方や体調管理がテーマに。心身に疲れを感じたら、休日は「おこもりモード」を發動し、自分らしさを取り戻そう。そんな蠍座の味方になってくれるのが、深みのある官能的な香りや、ホルダーなどのダークカラー。オンタムには目元や頬に肌触りのよいパウダーをまとうと、表情にも生命感が宿りそう。何かと奮起せねばならない場面が続くそうだが、ここでの努力は必ず未来に花開くので、どうか乗り切つて。



〈左〉フィグ エロティック オードパルフーム スプレィ 50mL ¥54,450 (12月26日オンラインにて先行発売、26年1月9日全国発売)／トム フォードビューティ 〈右〉カラー+グロウ エンハンサー 05 ¥6,270 (26年3月1日発売)／SHISEIDO

♊ Pisces  
魚座  
★2月19日〜3月20日生まれ

足取りも軽やかに、  
新しいステージへと移行して

過去約3年の間、試験の星・土星が滞在していた魚座は、仕事や人間関係などさまざまな課題に取り組んできたはず。2026年2月14日に土星が抜けると、ようやくくプレッシャーから解放されそう。次なるテーマは、この3年で身につけたスキルを用いて、有形無形の価値を手に入れること。自分に合った場所へと移動する流れもあり、転職や引越しには適したタイミングといえる。この時期のメイクにおすすめなのは、魚座を象徴するグラデーションカラー。そして心機一転を後押しするようなフレッシュなカラーたち。みずみずしい質感のファンデーションや、魚座のラッキーカラーである水色〜ピンクのパウダーをまとい、あなた本来の良さを引き出して。6月30日以降は、拡大の星・木星の影響で、自身の意見を述べるのが大切に。足取りも軽やかに新しいステージに移行して、実力を存分に発揮したい。



〈左〉ブラーリング カラー ハイライター 101 ¥6,600 (26年1月23日限定発売)／SUQQU 〈右〉ラディアントタッチクウォイクタ(コレクター) SPF50+ PA+++ 全2色 ¥12,320 (26年1月28日公式オンライン プレィック、表参道フラッグシップブティックにて先行限定発売、26年2月6日全国限定発売)／イヴ・サンローラン・ボーテ

♐ Sagittarius  
射手座  
★11月22日〜12月21日生まれ

頼もしい相棒を得て、  
実現したい事柄に挑戦を

2026年2月14日に現実化の星・土星が「恋愛や喜び」を表す位置に訪れる射手座は、やりたかった事を実行に移すチャンス。年間を通してパートナー運にも恵まれるので、恋人や頼れる相棒が出現する可能性も。ただし、土星は「責任」を伴う星でもあるため、夢や相手に対して真摯に向き合うことが必要になる。例えば交際相手と「結婚」という形を取る、フリーランスで活動していた人が組織に所属するケースもありそう。本来は自由をこよなく愛する射手座だけに、責任を果たしながら、これまでとは異なるステージで活躍してほしい。そんな射手座のラッキーカラーは、フレッシュなミントグリーンやオレンジ。素肌の質感を活かすきめ細かなパウダーや、ほんのり日焼けしたような血色感を添えるチークを取り入れて。射手座らしい自然体でヘルシーな表情は、新しい世界での活躍を応援してくれるはず。



〈左〉リセット セッティングパウダー ¥14,300 (26年1月1日発売)／プラダビューティ 〈右〉カラー クラッシュ 11 5R ¥12,100 (26年1月14日発売)／ヴァレンティノビューティ

占断をお願いしたのは…

七嶋ナオ(ななしな 小)

西洋占星術研究家

星の動きを丁寧に読み解き、ロジカルかつ1人1人のお悩みに寄り添う鑑定に定評がある。多くのメディアで活躍する傍ら、個人鑑定やSNSでの発信にも力を注いでいる。著書「私らしく生きるためのご自愛占星術」(朝日新聞出版・12月19日発売予定)

Beauty Horoscope

2026年の幸運を占うビューティホロスコープ

2026年は、あなたにとってどんな年になりそう? 12星座の運気を、占星術研究家の七嶋ナオさんが解説します。  
各星座の運気を後押しする、キレイ色や心地よい香りをまとうて、新しい年をポジティブな気分でスタートして。

astrologer: Nao Nanashima / composition & text: Namiko Uno

♋ Cancer  
蟹座  
★6月21日〜7月22日生まれ

社会との関わりが活性化。  
多忙な時ほど癒やしの時間を大切に

拡大の星・木星が2025年後半から頭上を運行している蟹座は、目下めぐる楽しい日々を過ごしているはず。2026年2月14日に現実化の星・土星が「社会活動」を表す位置に訪れると、仕事相手や家族も含め、多くの人があなたの力を必要とするだろう。面倒見のよい蟹座は自分1人で抱え込みがち。それでも、土星が促すのは「取捨選択」と「意識改革」。思い切って仕事を人に振る。家事にスマート家電を導入するなど、上手にやりくりする方法を見つけよう。多忙な時期だからこそ、意識的に「癒やしの時間」を持つことも大切。1日の終わりにローズのキャンドルを焚いてリラックスし、日中はケア効果に優れたリップで潤いをプラスするのも吉。蟹座のラッキーカラーであるパールのリップは、他者との前向きな対話をサポートしてくれるはず。6月30日に木星が蟹座を去るとひと息つけるので、そこまでは気合いを入れよう。



〈左〉ラルドゥ ヴィーヴル キャンドル リフィル ローズ センティフォリア 220g ¥10,780、同キャンドル ケース ローズ ボンバドゥール ¥9,130 (26年1月15日一部店舗にて限定発売)／ゲラン 〈右〉ディオール アディクトリップ マキシマイザー 110 ¥4,730 (限定販売中)／パルファン・クリスチャン・ディオール

♌ Leo  
獅子座  
★7月23日〜8月22日生まれ

12年に1度の主役運到来!  
周囲に堂々と自己アピールを

ここ数年、獅子座のあなたは「下積み」ともいうべき、地道な作業に取り組んできたのでは? それもこれも、全ては2026年後半に訪れる12年に1度の幸運期のため。ただし、年明けから上半期にかけては、下準備の最終段階。「専門知識や教養」を表す位置に滞在している現実化の星・土星の力を借りて、理想の実現に向けて自身をブラッシュアップしよう。6月30日に拡大の星・木星が獅子座に訪れると、いよいよ本領発揮のターン。これまでの準備を活かせる場面が増え、積極的に行動することで、注目の的になれるはず。そんな獅子座を後押しするのは、自信にあふれた女優メイク。鮮烈な赤のリップで唇を彩り、堂々と意見を述べて。立ち居るまいに自信が持てるような、品格のあるフグランスもおすすめ。プレゼンや人と会う前にひと吹きして、香りと一緒に主役のオーラをまといたい。



〈左〉エクストラリップ ティンテッド バーム 203 ¥5,060 (26年1月23日発売)／ボビー ブラウン 〈右〉シャネル N°5 オードゥ パルフーム バース スプレィ コメット 3x7mL ¥26,400 (限定販売中)／シャネル

♍ Virgo  
乙女座  
★8月23日〜9月22日生まれ

キーワードは「人間力」の強化。  
他者のニーズに柔軟に対応して

2026年の乙女座は「そうきたか!」と心の中でつぶやく場面が増えそう。2月14日に現実化の星・土星が「継承や他者との深い関わり」を表す位置に、続く4月24日に革新の星・天王星が「社会活動」を表す位置に訪れると、組織や他者のニーズに応えることが重要なミッションとなる。活躍の機会が増える一方で、自身ではコントロール不能な状況に陥ることも。自分とは違うタイプの人を理解する努力や、突発的な状況に対応する「人間力」が鍛えられるタムといえるだろう。他者から信頼を得るために、メイクは好感度が高い清潔感のある印象を心がけて。ラッキーカラーのラベンダーの下地で肌に透明感を演出し、唇にはフェミニンなピンクをまとうて、誠実に言葉が発するの吉。「大変だが、やるしかない!」という心意気で取り組むと、あなたの評価は高まり、次なるステージへと誘われるはず。



〈左〉ジバンシイ プリズム・リブル ケア&カラー・セラム・プライマー パープル 30mL ¥7,700 (26年2月1日発売)／パルファム ジバンシイ [LVMHフレグランスブランド] 〈右〉ルージュデュコルテ ティント & ブラン 03 ¥5,500 (26年1月16日発売)／コスメデュコルテ

♈ Aries  
牡羊座  
★3月21日〜4月19日生まれ

成熟した大人に向けて、  
自分自身を成長させよう

牡羊座の2026年開運のキーワードは、「大人の品格」を身につけること。普段は何かひらめいたら即座に行動したい牡羊座だけど、2月14日に現実化の星・土星が「自分自身」を表す位置に訪れると、「成熟した大人としての振るまい」が求められる。自分の考えはひとまず脇において、目の前の相手や、皆が快適に過ごすにはどうしたらよいかを優先して選択を。4月26日以降は革新の星・天王星の影響を受けて、新しい出会いの機会にも恵まれる気配。ここでも大切なのは相手と信頼関係を築くこと。メイクも「他者から見た印象」を意識して。アイブロウで眉を整えて「きちんと感」を演出したり、ローズ系のチークで落ちついた雰囲気にとまめたりするのもおすすめ。1年の前半に周囲と信頼関係を構築することで、6月30日以降は拡大の星・木星の恩恵を受け、活躍のシーンが増えるはず。



〈左〉アディクション アイブロウマスカラ カラーニュアンス 101 ¥3,300 (26年1月9日限定発売)／アディクションビューティ 〈右〉ルナソル カラーリングブリーズ 05 ¥4,840 (ケースセット価格、26年1月16日発売)／カネボウ化粧品

♉ Taurus  
牡牛座  
★4月20日〜5月20日生まれ

自身の内面と向き合う年。  
「断捨離」も幸運のカギ

2026年2月14日に、現実化の星・土星が「無意識」を表す位置に訪れる牡牛座は、自分は何を望み、今後どうしたいのかを、じっくり見つめ直すタイミング。こんな時は外に出て活動するより、家の中や心の整理に時間をかけると吉。1人時間のお供には、春の花の香りを選び、牡牛座を象徴するデコルテにふんわりとまとうてみよう。落ちついた気持ちで、自身の内面と向き合えるはず。ベースを整えるという意味では、「断捨離」も開運行動。つい、物をキープして増やしがちな牡牛座だけど、使わない服やメイクアイテムは、この機会に思い切って処分を。代わりに1つでチークやリップに使えるマルチカラーを手に入れたら、ポーチの中身はもちろん、モヤモヤした気分までもすっきり整うはず。情性で続いているルーティンや人間関係も刷新することで、新しい縁や運気を呼び込むことができる。



〈左〉パウダー キスリップ + チーク ムース ウォーム ハブ ¥4,840 (12月26日公式オンラインショップなどにて先行発売、26年1月9日全国発売)／M・A・C 〈右〉ボール & ジョー リフレッシュ ミスト 002 80mL ¥3,850 (26年2月1日限定発売)／ボール & ジョー ボーテ

♊ Gemini  
双子座  
★5月21日〜6月20日生まれ

積極的な人と交流して、  
ステップアップを目指す

2026年の双子座の元には、沢山の人が集まってきそう。2月14日に現実化の星・土星が「友情」を司る位置に訪れると、人を紹介されたり、出会った相手と意気投合したりと、人脈が拡大する傾向に。年上の人とも縁があり、教えを請う気持ちで交流すると、吉。それが、ステップアップにも繋がるはず。そんな双子座を後押しするのが、ミントグリーンやイエローなどの新鮮なカラーたち。目元に淡いグリーンとパールの輝きをあしらひ、好奇心旺盛なまなざしで、積極的に人とコミュニケーションをとろう。6月30日以降は、拡大の星・木星の影響で、発信力が高まる時。会議で意見を述べたり、SNSで情報をシェアしたりすると、運を呼び込むきっかけに。ただし目立ちやすい時期でもあるので、発言内容には気をつけて。唇に透け感のあるイエローゴールドをまとい、言葉の力を信じて発言すると、よりリアクションが返ってきそう。



〈左〉モノ ルック アイズ L-103 ¥4,290 (26年1月23日限定発売)／SUQQU 〈右〉アディクション ザリップグロス ティント 001 ¥4,070 (26年1月9日発売)／アディクションビューティ



# Tourism Section - Embassy of Spain

## 豊かな自然と文化、 美食に魅せられて 旅したくなるスペイン

10月末に開催されたスペイン大使館観光部主催、  
『マリ・クレール』共催のイベント  
「le salon de marie claire 〜  
五感で味わう旅するスペイン〜」。  
その模様を誌上レポート。  
きっとスペインを訪れたくなるはず。

text: Satsuki Tadokoro

### Event

#### MEGUMIさん達が スペインの魅力を発信

1,000名以上の応募者から選ばれた約100名の読者を招いて、東京・竹芝のホテル「メヅム東京、オートグラフ コレクション」で行われた「le salon de marie claire 〜五感で味わう旅するスペイン〜」。ウエルカムドリンクとして提供されたのが、スペイン・バスク地方の地ワイン・チャコリ。同じくバスク地方名物のピンチョスをつまみながら、開演までの時間を楽しむ光景も。

スペイン大使館観光部観光参事官エンリケ・ルイス氏の挨拶からイベントはスタート。「豊かで多彩な食文化を持つスペインのガストロノミーは、世界をリードする存在。日本とスペインは、食への情熱や探究心という点で多くの共通点があります」と語り、スペインの美食をPRした。そして、この日のメインプログラムであるトークショーには、俳優・プロデューサーのMEGUMIさんと、「バスク美食倶楽部」主宰の山口純子さんが登壇。今回のテーマでもある“五感で味わう”をキーワードに、お二人が拠点としているバルセロナ、サン・セバスティアンの食文化やライフスタイルについて軽妙なトークを展開し、会場をわかせた。質問コーナーやスペイン産ワインとリング酒の試飲会、プレゼント抽選会と盛りだくさんの内容で、スペインの魅力を発信した。



1.ゴシック様式で建てられたサンタ・エウラリア大聖堂は、その大きさと美しさに圧倒される  
2.ゴシック地区にあるピカン美術館。バルセロナの美術学校で学んだピカソの、幼少期からの作品なども展示されている 3.旬の野菜や魚介、ハムやチーズなどが色とりどりに並び市場は、散歩するだけでも楽しい



バルセロナのシンボル、アントニ・ガウディが手がけたサグラダ・ファミリア

### Barcelona

#### 旧市街でアートを楽しみ、市場で人とふれあう

MEGUMIさんが居を構えるバルセロナにも、お気に入りのビーチがあるそう。「市街に近いバルセロナータビーチや、車で20分ほどいくとモンガットビーチというとても静かできれいな海も」(MEGUMIさん)。「一年中水着を着て海に入り、砂浜を歩くのが国民的スポーツみたいになっているんです(笑)。お金もかからないし、ぜひ体験してほしい」(山口さん)。

バルセロナと言えば、ガウディの建築群や世界的なアートでも名高い街。サグラダ・ファミリアは、MEGUMIさんの自宅から徒歩20分ほどのエリアにあるそう。「毎朝の散歩で、お参りのような気持ちで眺めています。完成までの貴重な瞬間を目撃しているんだなと」。さらにおすすめとして挙げてくれたのが、バルセロナ旧市街の一部にあるゴシック地区。ゴシック様式

の荘厳なカテドラル(サンタ・エウラリア大聖堂)や、ピカソ美術館、現代アートコレクションを展示したMOCO美術館など、見どころがたくさんだ。「他にもよく行くのは市場です。新鮮な魚介や野菜などを買ってきて、炭火で焼いてオリーブオイルと塩とレモンだけで食べる。赤海老とか生牡蠣も本当においしい!」(MEGUMIさん)。「ホテル滞在でも、市場でお店の人とコミュニケーションをとりながら、生ハムを切ってもらったり、トマトやオリーブオイルを買ったりして帰って食べれば、楽しみ方が豊かになると思いますよ」(山口さん)。「スペインは、人生の楽しみ方を知っている、成熟した大人がたくさんいる国。散歩して海に入っておいしい物を食べて。居るだけでパワーをもらえますし、幸せになれる場所ですね」(MEGUMIさん)。

### San Sebastián

#### バルに三つ星レストラン。 美食を味わい尽くす

スペインとフランスの国境にまたがるピレネー山脈西側に位置し、独自の文化や言語を持つバスク地方。中でもサン・セバスティアンは、“ビスケー湾の真珠”と呼ばれる風光明媚な都市だ。近年は、美食の街としても注目されている。とくに人気なのが、バスク地方発祥と言われ、酒のつまみになる串に刺したピンチョス。「食材が上質で、ひと皿料理として完成されたものが多いのが特長です。例えば、ドライトマトの油漬けの上に焼いたズッキーニ、ヤギのチーズや生ハムを載せるなど、味の組み合わせも考えられていて、季節ごとに旬の食材も楽しめますよ」と、山口さん。「私はバスクチーズケーキを赤ワインで食べたとき、チーズケーキってつまみになるんだ!って驚きました。濃厚なのに軽い。ワインが進みます」(MEGUMIさん)。「バスク地方では、バル1軒につきワイン1杯とピンチョス1つを食べたら次の店へと、立ち飲みしながらバルホッピングをする習慣があり、いろんな料理をちよつとずつ味わえるんです」(山口さん)。バルだけでなく、ミシュラン三つ星レストランを3軒も有し、美食目的で訪れる人も多いサン・セバスティアンだが、じつは200年以上前から王族の避暑地として発展してきた歴史がある。MEGUMIさんたちが口を揃えるもうひとつのおすすめは、美しい海とビーチ。三日月形の砂浜が広がるラ・コンチャビーチは、代表的な観光名所だ。「海に入ると体の調子もよくなるし、悩みも忘れちゃいます。究極のデトックスですね。海から上がった後のごはんが、また美味しいんです(笑)」(MEGUMIさん)



1.サン・セバスティアンのベストスポット。美しい景観の「ラ・コンチャビーチ」 2. 美食の町・サン・セバスティアンの街並み 3.4. バル文化から生まれたタパス(小皿料理)やピンチョスの多彩な食材の組み合わせが、目も舌も満足させてくれる



山口純子  
バスク美食倶楽部主宰。サン・セバスティアン在住。現地に幅広いコネクションを持ち、美食コーディネーターとしてバスクの食文化の広報活動、マスコミ取材のコーディネーション、コンサルティングなど多方面に活動している。



MEGUMI  
俳優として第62回ブルーリボン賞助演女優賞を受賞。近年は映像の企画、プロデュースなど活動の幅を広げ、日本映画や日本文化を世界に向けて発信するなど、多彩に活躍している。現在は、東京とバルセロナとの二拠点生活。ドレス・シューズ/ともにトッス、アクセサリー/ジャルロッド シェネ



5.月に一度はスペインを訪れるというMEGUMIさんが、山口純子さんとスペイン愛についてトーク 6.プレゼント抽選会でも提供された「チャコリワインロゼ」



# MELLERIO

## 400年の伝統と時代の“今”を纏う「メレリオ」が継承するクリエイション

PG=ピンクゴールド、YG=イエローゴールド

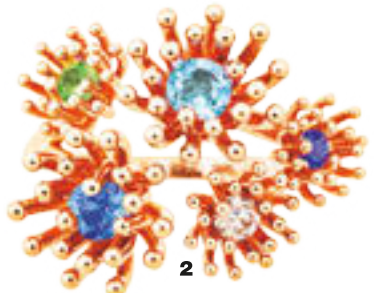
フランス・パリで1613年に創業し、ヴァンドーム広場界隈で最初に店を構えた「メレリオ」は、フランス最古のジュエリーメゾンとして400年以上の歴史を紡いできた。北イタリアの小さな山村にルーツを持ちながら、パリで名声を確立した名家である。代々受け継がれてきた創造性と職人技、唯一無二の価値観を、14代目で現在は社長兼アーティスティック・ディレクターを務めるロール＝イザベル・メレリオが現代に息づかせている。

彼女が大切にするのは、歴史を重荷ではなく、創造の源泉として未来へつなぐことだ。「創業家が今日まで経営しながら、どの時代も最先端であろうとした姿勢こそ、『メレリオ』が途切れることなく受け継がれてきた背景です。歴史だけでは埋もれてしまいますから、常に時代と同じ呼吸をするコンテンツラリーな空気感を保つことが重要です。アーカイブや歴代のお客様のオーダーからヒントを得て、特別なデザインを現代に生かしています」

日常づかいのジュエリー“ブチカクタス”にも、メゾンの歴史が育んだ美意識が息づく。「公式の場ではハイジュエリーを、日常には軽やかなジュエリーを——王妃たちが楽しんだスタイルがDNAとして残っています。マリ－アントワネットが愛した草花のモチーフも



ロール＝イザベル・メレリオ  
メレリオ家の14代目当主。インテリアデザイナーであり、美術史家で宝石学の学位を持っている。現在は、フランス最古にして最後の家族経営のジュエリー・メゾン「メレリオ」の社長兼アーティスティック・ディレクターを務める。



1.「メレリオ」の最初のロイヤルカスタマーであるマリ－アントワネットが愛した小さなバニラサボテンの花をモチーフにした可憐なコレクション“ブチカクタス ヴァニエユ”。日常使いにぴったりのアイテムが揃う 2.リング“ブチカクタス ヴァニエユ”[PG×サファイア×トパーズ×ツァボライト×ダイヤモンド]¥770,000 (メレリオ)



1

『メレリオ』が長く大切にしてきたテーマです」

ルネサンスをインスピレーション源とするハイジュエリー “キャビネ・ド・キュリオジテ”もその一つだ。「ヨーロッパの富裕層が収集した珍品を所蔵するために作られた博物館の前身『キャビネ・ド・キュリオジテ(日本名:驚異の部屋)』から着想したコレクションです。基本のネックレスやチョーカーに好みのチャームを追加して楽しめるスタイルが人気です」

家族経営を守る理由について彼女は語る。「価値観を貫ける自由と、本物の価値を提供できることです。大資本では戦略に沿う必要がありますが、私たちは中長期的な視野でクリエイティブを育てられます」

伝統を守りつつ未来を開く——その静かで強い意志が、「メレリオ」を唯一無二のメゾンとして輝かせ続けている。



3



4

3.ルネサンスの華やかさを現代的に再解釈したジュエリーコレクション“キャビネ・ド・キュリオジテ”。ジュエリーを機重にもレイヤードし、自分らしい個性を表現できる 4.チャーム“ジャルディンメダル グリーン フィールズ”[YG×サファイア×ツァボライト]¥1,540,000 5.ネックレス“リエン パール ネックレス”[YG×淡水パール]¥1,320,000 チャーム(左から)“プレシャスカメオパールメダル”[YG×シェルカメオ×ルビー×ダイヤモンド]¥1,650,000 “オレンジブラッサムメダル”[YG×シトリン×サファイア]¥1,980,000 (すべてメレリオ)

# Ca'del Bosco

## フランチャコルタ×フォトグラフ 2つの芸術の コラボを楽しむ

イタリア・ロンバルディア州で造られる最高格付けのスパークリングワイン「フランチャコルタ」。そのトップワイナリーであるカ・デル・ボスコ社のワインが、2026年1月1日より帝国ホテル 東京内のシャンパンバー「The Rendez-Vous AWA」にて提供される。店内では期間中、創設者兼社長マウリツィオ・ザネッラ氏のパーソナルプロジェクトとして制作された写真集「11 Fotografi 1 vino」の展示も。「写真という芸術のマジカルな効果によって、ワインという芸

術の魅惑的な価値を高めることが、発想の源でした」と、ザネッラ氏。「フォトグラファーにお願いしたのは、自らか・デル・ボスコのワイナリーに来て、目で見て撮りたいものを撮ってくださいということ。ただし、コマーシャルな写真にはしたくないので、ボトルのラベルは写さないでくださいと。最初に招いたのは、友人でもあるフランコ・フォンタナ、2人目がヘルムート・ニュートンでした」。著名なフォトグラファー11人が、ワイナリーを舞台にそれぞれの視点で“土地、芸術、そしてワインが融合する瞬間”を写し出した写真集は、こうして生まれたそう。そのドラマティックな作品たちを鑑賞しながら、カ・デル・ボスコの美学を宿した1杯を味わいたい。

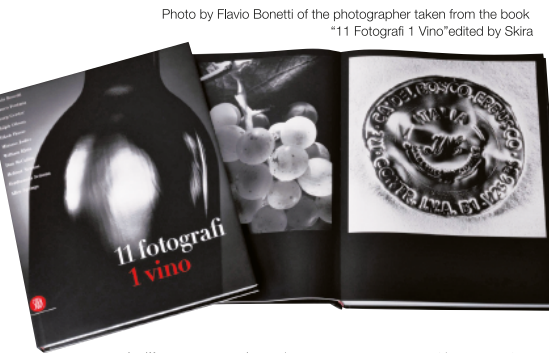


Photo by Flavio Bonetti of the photographer taken from the book "11 Fotografi 1 vino" edited by Skira

提供ワイン: カ・デル・ボスコ フランチャコルタ ヴィンテージ コレクションドサーージュ ゼロ  
シャルドネを主体に、ピノ ネロ、ピノ ビアコンをブレンド。平均48か月間の瓶熟成を経てリリース。ドサーージュを加えるため、純粋なブドウの味わいとテロワールを感じることができる。  
価格: ¥4,000 / 1杯 (サービスク・消費税込み)  
提供期間: 2026年1月1日(木・祝)～ 2月28日(土)

帝国ホテル 東京  
「The Rendez-Vous AWA」  
住所: 東京都千代田区内幸町1-1-1 本館1階  
tel: 03-3539-8045  
営業時間: 17:00～ 22:30 (22:00ラストオーダー)  
第1・第3水曜日は18:00から営業  
商品に関するお問い合わせ先: フードライナー 0120-28-6683

# HANKYU TRAVEL

## ガウディのメモリアル・イヤーに訪れたい。歴史、文化、芸術の国スペイン

text: Satsuki Tadokoro

多彩な風土や文化で魅了するスペイン。ガウディ没後100年&サグラダ・ファミリアメインタワー完成予定の2026年にこそ、ぜひ旅の計画を。

未完の世界遺産として名高い、スペイン・バルセロナのサグラダ・ファミリア。2026年は、この偉大な建築を手がけたアントニ・ガウディの没後100年、そしてメインタワー、イエス・キリストの塔も完成予定で、世界中から熱い注目を浴びている。グエル公園やガウディ後期の邸宅&集合住宅カサ・ミラなど、彼が遺した作品群を巡り、その唯一無二の造形美に圧倒されたい。

もちろん、地域や都市ごとに異なる多彩な魅力を放つのがスペイン。首都マドリッドのプラド美術館や国立ソフィア王妃芸術センターで、ピカソの「ゲルニカ」など多くの名画や芸術作品に触れ、古都トレドでは東西文化が融合した独自の文化を体感。かつて王侯貴族が暮らした跡地に建つ国営ホテル・パラドールに



1.バルセロナの街を一望するグエル公園は、もともとはグエル伯爵の依頼で造られた分譲の庭園型住宅 2・3.バルセロナの一大観光名所となったサグラダ・ファミリア。ライトアップされた夜景は、昼間とは異なりさらに神秘的な姿に 4.地中海などからイメージした波打つ曲線の外観が特徴的なカサ・ミラ

宿泊し、歴史を感じながら優雅なひとときを過ごすのもおすすめだ。そして、スペイン南部アンダルシア地方では、まばゆい太陽に輝く白い建物が並ぶ街並みの散策も。スペインを楽しみ尽くす、欲張りな旅に出よう。

ユニークなガウディの傑作が待つ、バルセロナへ  
1852年スペイン・カタルーニャ南部に生まれ、バルセロナに活躍した建築家ガウディ。植物や海など自然の造形を取り入れた独創的なデザインと、鮮やかな色彩が特徴。最高傑作と称されるサグラダ・ファミリアは、明確な設計図が遺されていないことから工事が難航し、完成まで数百年かかることされていたが、建築技術の革新で工期が短縮された。グエル公園や、ほぼ曲線のためのユニークな集合住宅カサ・ミラなど、代表的な7つの建築物が、「アントニ・ガウディの作品群」としてユネスコの世界文化遺産に登録されている。

※上記掲載ツアーはこの広告でのお申し込みは受け付けておりません。パンフレットの請求は、下記の連絡先までお問い合わせください。  
お問い合わせ先: 阪急交通社 tel: 0570-08-8689 営業時間: 9:30～17:30(土・日・祝日: 9:30～13:30)

# mesm Tokyo

ウオーターフロント・竹芝に建つモダンラグジュアリーホテル「メズム東京、オートグラフ コレクション」。躍動感に満ちた東京の波長と共鳴する上質な空間、魅惑的なサービス&コンテンツが人気だ。16階にあるフレンチダイニング「シェフズ・シアター」では、秋から冬へと移ろう季節を一皿ごとに表現したダイニングプログラムを、ランチ「山海の序章 Sea & Mountain Prelude」、ディナー「森羅の宵 Nature's Finale」と銘打ち、2026年2月28日までコースメニューで提供している。キュリナリー・マイスター隈元香己氏が愛する蝦夷鹿や野田鴨をはじめ、森の滋味と海の恵みを堪能しよう。ランチとディナーはそれぞれ完結した世界観を持ちながらも、両方を味わうことで季節の移ろいをより深く感じられるそう。まさに“シェフの劇場”らしい演出だ。

シェフズ・シアターとは  
ビストロ・ミースタイルの本格フレンチを、オープンキッチンのライブ感とともに楽しめるホテル内のレストラン。華やかでダイナミックなアートが目玉空間で、日中には浜離宮恩賜庭園の爽やかな緑、ディナータイムは大会場の埋めく夜景を望むロケーションも魅力。繊細なシェフの技と、東京だからこそ集まる旬の食材から生み出される珠玉のひと皿ひと皿を、まるで舞台を鑑賞するように五感のすべてで味わえる。

メズム東京、オートグラフ コレクション  
東京都港区海岸1-10-30  
tel: 03-5777-1111 https://www.mesmj.jp/

## 晩秋～冬の恵み&滋味を五感で味わう フレンチダイニング「シェフズ・シアター」で魅惑の美食体験を

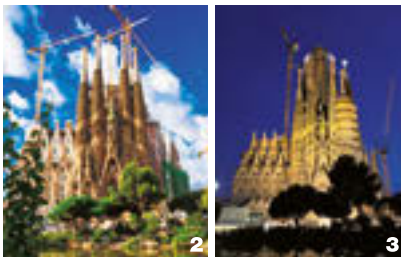


ランチプログラム「山海の序章 Sea & Mountain Prelude」

食前を彩るアミューズは、森の香りと栗のコクを重ねたボルチーニ茸のブリオッシュと笠間栗のモンブランなど、旬味を凝縮した4品。メインの魚料理は、鰯の出汁を合わせたジューコキヤージュとともにいただく真鯛のソテー。肉料理には、華やかな季節野菜を付け合わせた野田鴨のロースト。オードブル、デザートを加えた4品コース ¥7,600 11:30～15:00 (L.O. 14:00)

ディナープログラム「森羅の宵 Nature's Finale」

香ばしとコクを楽しむ鰯の燻製とミニニクの穿のコンディメントなど、季節の移ろいを上品に感じる4種のアミューズ。メインの魚料理は、表面を香ばしくンターした寒鮮を、ハーブと柑橘類をブレンドしたアンフィュージョンの演出で。丁寧な下処理を施し野趣と旨味を引き出した蝦夷鹿のローストは、外は香ばしく中はしっとり、オードブル、デザートを加えた5品コース ¥15,800 17:00～22:00 (L.O. 20:30)



2

3



4

マドリッドからアンダルシア、バルセロナまで巡る充実旅! 憧れのパラドールに泊まる! スペイン大周遊10日間

Check  
サグラダ・ファミリアとグエル公園は入場観光。サグラダ・ファミリアのライトアップにもご案内するのは、東京トラビックスではこのコースだけ。カサ・ミラ内のレストランでランチをお楽しみ(入場観光はなし)。本場アンダルシアのフラメンコショー鑑賞。パラドール・デ・コルドバに宿泊。

代金: ¥629,000～ 699,000  
(1名様あたり、2名1室・燃油サーチャージ別)  
利用ホテル: スーベリアクラス(阪急交通社基準)  
食事: 朝8、昼6、夕3  
※添乗員同行

ツアー情報はここから→







### 多くの女性が試乗して、新しい魅力を発見

クラウンに試乗したり、練習場や駐車場への送迎で乗車したりする参加者も多く見られた。同乗したのが、クラウンの魅力を広く伝えるクラウンアテンダントだ。「私はクラウン“エステート”を担当しました。お客さまからのご質問で多かったのが『キャディバッグはいくつ積めるの?』です。3つとお答えすると皆さん驚かれていました」。収納力に優れたクラウンというイメージはなかったようだ。

実際に「クラウン“エステート”」に試乗した参加者に話を聞くと、「ラゲージスペースの広さに驚いた」と言う。また、今乗っている大型のワンボックスカーより車幅が広いのに、小回りが利いて運転しやすいかったという声も聞けた。そして、多くの参加者が口にしたのが、「思っていたクラウンと違う。女性が乗りやすいクルマに変わっていた」という言葉だ。クラウンの革新と挑戦は、この日の参加者にしっかり受け入れられたようだ。

クラウンとつながる、新しい起点に。  
「THE CROWN 愛知高辻」



クラウンを見て、試乗して、その魅力と価値を体感するための空間、それが「THE CROWN 愛知高辻」。クラウンアテンダントと会話をしながら、相応しい1台がここで提案される。花々とオリジナルのアロマが迎えてくれる店内は、クラウンを選ぶためのホスピタリティが満ちている。また、フラワーアレンジメント教室などを店内で開催するほか、トヨタ博物館で閉館後のナイトツアーを開催するなど、店外でも主催イベントを実施。多くの人がクラウンと出会う機会をつくっている。  
住所：愛知県名古屋市長和区高辻町6-8



### 「THE CROWN 愛知高辻」クラウン展示・試乗会を、コンペと併せて開催

多くの女性が集うこの日、クラブハウスのエントランスには何台ものトヨタクラウンが並んだ。アクティブライフへ導く「クラウン“エステート”」をはじめ、美しいデザインの「クラウン“スポーツ”」、ニューフォーマルと称される「クラウン“セダン”」、そしてセダンとSUVが融合した「クラウン“クロスオーバー”」、いずれも高い評価を受けている、トヨタを代表する車だ。クラウンと言えば男性、しかもミドルエイジ以上が選ぶ車。それが、なぜ女性だけの大会の会場に並んでいるのか。その疑問は、それぞれのスタイルを目にするすぐに解決した。

「4種類のクラウンが形にしたのは、革新と挑戦。残したかったのはクラウンという名前だけで、それ以外は一新しました」と語るのは、クラウンを紹介するための店舗として誕生し、県外からも多くの方々が集う「THE CROWN 愛知高辻」の矢花慶ゼネラルマネージャー。中でも、デザイン性を重視した「クラウン“スポーツ”」の評価が高いと言う。「この傾向は、際立つ個性が多くの方々に響いている証拠だと思います。快適性はもちろんですが、クラウンが“カッコいい”という評価を得ているのは、まさに革新と挑戦の成果です」とも語る。自分のために「クラウン“スポーツ”」を選ぶ女性も増えているとか。クラウンの裾野が広がっているようだ。

### トークショーから、いよいよ表彰式へ

「初めてのパーが、何よりの思い出」「ニアピンはホールだけシャンク。悔しい!」。それぞれが一日を振り返りながら、およそ140もの席が用意されたパーティ会場に向かった。最初のプログラムは、東尾プロと『マリ・クレール』田居克人編集長のトークショー。「実は、このコースとはとても相性が悪い!」という東尾プロの思わぬ告白から始まった時間は、笑いに包まれながら田居編集長のゴルフファッション談義へと続いた。ハイブランドが次々とゴルフウェアを発表する中、主張しすぎないデザイン、素材の良さ、上質な仕立てが特徴の“クワイエットラグジュアリー”が人気を集めていると言う。

また、「お二人にとってゴルフとは」という問いかけに対し、田居編集長は「年齢を重ねても、新たな目標を作ることができるスポーツ」。東尾プロは「自分との闘い。常に反省してばかり」と、プロの厳しさをのぞかせた。「皆さんは反省ではなく、今日一番のショットを思い出して、気持ち良く寝てください」という優しい言葉でトークショーが締めくくられ、表彰式へと移った。

協賛各社からの賞品が次々に手渡され、いよいよ優勝者の発表へ。名前が呼ばれると一斉に大きな拍手が会場に響き、優勝の目録が手渡された。表彰式後にお話を伺うと、「ダブルボギーでも仲間が励ましてくれたので、心折れずに回れました。朝、お話しした通りの結果になってうれしいです」と言う。実はスタート前に「目標はホテル宿泊券を手にする」と話してくれた方。見事な有言実行だった。



# marie claire open golf in Aichi 2025

## 名門コースに用意された特別な一日を、今年も多くの女性ゴルファーが満喫

昨年11月、多くの女性ゴルファーを集めて行われた「marie claire open golf in Aichi」が、今年も秋真っ盛りの10月31日(金)に開催された。舞台は昨年同様、女子プロのトーナメントも開催される中京ゴルフ倶楽部石野コース。139名の女性ゴルファーが、ゲストの東尾理子プロとともにプレーを楽しんだ。併せて行われた「THE CROWN 愛知高辻」によるクラウン展示・試乗会をはじめ、協賛各社によるゴルフ関連商品などの展示・販売ブースも大盛況。女性のために用意された特別な一日を堪能した。



### 笑顔に包まれた、東尾プロとのニアピン対決

池越えのショートホール、6番では今年もプロとのニアピン対決が行われた。参加者を待ち受けるのは東尾理子プロ。記念撮影を終えてプロがティーグラウンドに立つと、全ての動きを見逃さないように全員の熱い視線が集まっていた。いよいよ自分が打つ順番になると、緊張がマックスになる様子。大きくグリーンを外した参加者は、プロから「去年は池ポチャだったの? だったら上達したじゃないですか」と励ましの言葉をかけられていた。

プロがアドバイスをする姿も見られたので、後から「どんな助言を?」と伺うと「ラウンド中に細かなことを言うと混乱することもあるので、打つときのイメージをお伝えしました。このホールなら、池は視界から消し去ってグリーンに旗だけを見て打つように、と」。プロから貴重なアドバイスをもらった参加者は、ずっと忘れないに違いない。



### こだわりのファッションも見どころに

曇り空の下、複数の組が一斉にスタートするショットガン方式でラウンドが始まった。カートから降りたら、どの組もまずは撮影タイム。芝がしっかりと整えられたコースを背景に、今日イチの笑顔が広がる。



スコアメイクや仲間との時間を楽しむだけでなく、おしゃれを存分に楽しんでいる様子が伝わってくるのもこのコンペらしいところ。「気合が入るコンペの前には、何を着るかを相談します」という二人は、紺と赤でカラーコーディネート。緑のコースに映えていた。この日よく見かけたのが、黒を基調としたファッション。「パンツやスカートなど、スタイルは違いますが黒を基本に揃えました」という4人のキャップなどには、パンプキンカラーのアクセサリーがプラスされていた。「だって今日はハロウィンだから」。遊び心もファッションに欠かせないピース、という思いがしっかりと届いた。

### スタート前から、お楽しみがいっぱい

少しずつ色づき始めた木々を見ながら、クラブハウスへ向かう足取りは軽い。待ちわびた一日を楽しもうと、受付開始の7時から女性ゴルファーが続々とやって来た。思い思いのゴルフウェアに着替えた参加者が向かったのは、ゴルフクラブやキャディバッグ、機能性ウェアなどが並んだ協賛各社のブース。石焼焙煎にこだわったコーヒーを楽しみながら、興味を持った商品の説明を真剣に聞く姿があちこちで見られた。

人気のクラブ「MAJESTY」の試打もできる練習場から、本気モードのゴルファーが戻り始めたらいよいよスタート間近。「名門コースでプレーできることが、何より楽しみ!」東尾さんに会えるのはうれしいけど、ニアピン対決となると緊張します!「今日の目標はただ一つ。優勝してホテル宿泊券を手にする」となど、それぞれの思いを持ってコースへ向かった。





## Thanks Days Platinum 大切な人へ、自分へ、想いを贈る 「サンクスデイズ・プラチナ」の永遠の輝き

プラチナ・ジュエリーの国際的広報機関であるプラチナ・ギルド・インターナショナルが手がける「Thanks Days Platinum(サンクスデイズ・プラチナ)」。

長年寄り添ってきたパートナーや、大切な家族への感謝を、永遠に色あせないプラチナの輝きに託して伝えたいという思いから生まれたジュエリーブランドだ。人生のあらゆる瞬間に寄り添い、特別な記憶を彩るプラチナ・ジュエリーが表情豊かに揃う。

今年のホリデーシーズンは、そのコレクションの中から、プラチナの凜とした光とダイヤモンドの華やかな煌めきが美しく共鳴するリングやペンダントに注目。大切な人へ

感謝の気持ちを伝えるギフトとしてはもちろん、自分自身へのご褒美にもふさわしい洗練されたデザイン。お気に入りのピースを年ごとに重ね、自分だけの輝きの物語を紡ぐのも楽しみの一つ。

プラチナ・ジュエリーの「変わらない輝き」が、ホリデーシーズンのひとときをより特別に彩り、贈る瞬間を心に残る幸福な時間へと導いてくれるはず。

プラチナの気品ある輝きに包まれたラウンドデザインのジュエリー。センターのダイヤをメレダイヤが取り囲み、雪の結晶のように光を集めて煌めく。(左から)リング[プラチナ×ダイヤモンド(中石0.2ct、脇石0.13ct)] ¥319,000 ペンダント[プラチナ×ダイヤモンド(中石0.2ct、脇石0.06ct)] ¥253,000(ジュエラーズジャパン/サンクスデイズ・プラチナ/プラチナ・ギルド・インターナショナル)

↓「サンクスデイズ・プラチナ」のラインナップはこちらからチェック  
<https://www.preciousplatinum.jp/viewjewelry/thanksdaysplatinum/>

## Musée d'Orsay オルセーの印象派コレクションが 国立西洋美術館に勢ぞろい



エドワード・グア「家族の肖像(ベレッリ家)」 1858-1869年 油彩/カンヴァス オルセー美術館、パリ  
© photo: C2RMF / Thomas Clot



クロード・モネ「アバットマンの一角」 1875年 油彩/カンヴァス オルセー美術館、パリ  
© Grand Palais Rmn (musée d'Orsay) / Martine Beck-Coppola / distributed by AMF



ビエール＝オーギュスト・ルノワール「ピアノを弾く少女たち」 1892年 油彩/カンヴァス オルセー美術館、パリ  
© Grand Palais Rmn (musée d'Orsay) / Hervé Lewandowski / distributed by AMF

「オルセー美術館所蔵 印象派一室内をめぐる物語」が、東京・上野の国立西洋美術館で開催中だ。「印象派の殿堂」ともいわれるパリ・オルセー美術館に所蔵されたマネ、モネ、ルノワール、セザンヌらの傑作約70点が勢ぞろい。この規模での来日はおよそ10年ぶりで、若き日のドガによる才気みなぎる代表作《家族の肖像(ベレッリ家)》は、日

本初公開となる。さらに、国立西洋美術館やフランスのジヴェルニー印象派美術館のほか国内外に所蔵される重要作品も一堂に展示。“室内”をめぐる印象派の画家たちの関心のありかや表現上の挑戦をたどりながら、うつろう光や大気とともにとらえた“戸外”の風景だけではない、印象派のもうひとつの魅力を紹介する。

展覧会アンバサダーを務める俳優・歌手の上白石萌音さんが、音声ガイドにも出演。印象派画家たちが描く、室内をめぐる物語を案内する。

「オルセー美術館所蔵 印象派一室内をめぐる物語」

会場：国立西洋美術館  
住所：東京都台東区上野公園7-7  
会期：2026年2月15日(日)まで  
開館時間：9:30～17:30  
(金・土曜日は20:00まで)  
※入館は開館の30分前まで  
休館日：月曜日、12月28日(日)  
～2026年1月1日(木・祝)、1月13日(火)  
ただし、1月12日(月・祝)、2月9日(月)は開館  
観覧料：一般¥2,300 大学生¥1,400  
高校生¥1,000 中学生以下、心身に障害のある方  
および付添者1名は無料  
問い合わせ：050-5541-8600(ハローダイヤル)

## SEIBU IKEBUKURO リニューアルオープンした西武池袋本店 デパ地下グルメで彩るクリスマス



### 日本橋 千足屋総本店 華やかな聖夜を彩る 特別なクリスマスケーキ

丸型のスポンジケーキを、なめらかなホイップクリームで包みました。やさしい口どけをお楽しみいただける、クリスマスケーキです。

クリスマス ストロベリーショートケーキ(丸) (1台、5号) ¥9,936  
●販売期間：12月23日(火)～25日(木) 期間計限定30台  
※なくなり次第終了



### 西洋銀座 ディナーの主役は こだわりのローストチキン

トリュフ入りのリゾットを中に詰め、じっくりと焼きあげた、クリスマス限定の豪華なローストチキン。こだわりの製法で仕上げたひと味違う一品で、パーティも盛り上がるはず。

クリスマスローストチキン(1台) ¥5,940  
●販売期間：12月23日(火)～25日(木) 期間計限定18台  
※なくなり次第終了



### ピエール マルコリーニ フランボワーズとムースの 至福のマリアージュ

甘酸っぱいフランボワーズ風味のビターガナッシュと、ホワイトチョコレートムース。うっとりするほど絶妙な組み合わせのスイーツは、思わず笑みがこぼれる美味しさ。

ガトー クール フランボワーズ(1個、直径約6.5cm) ¥1,080  
●販売期間：12月23日(金)～25日(木) 各日限定10個  
※なくなり次第終了



### RF1 ワインのお供に最適。 アンティパストのスペシャルセット

ワインによく合う多彩なアンティパストを、コンパクトに詰め合わせ。好みのワインを合わせてカジュアルに楽しめるプレートが登場。[セット内容：トマトとモzzarellaチーズのバジルナッツサラダ/魚介(海老・イカ)のホワイトバルサミコ/オリーブ・アンチョビ/ほうれん草とベーコンのミニキッシュ/ローストビーフのサラダ]

ワインと楽しむスペシャルセット(1パック、2人前) ¥2,300  
●販売期間：12月23日(火)～25日(木)



### メゾンカイザー クリスマス気分を盛り上げる ドイツの伝統菓子

この時期限定、「メゾンカイザー」特製のシュトレン。カルヴァドスで風味をつけた生地に、ドライフルーツをふんだんに練りこみました。心温まるクリスマスの定番お菓子を味わって。

シュトレン(1個) ¥3,500  
●販売期間：12月25日(木)まで 限定200個  
※なくなり次第終了



### つばめグリルDELI みんな大好き! 人気メニューで ハッピークリスマス

店内キッチンで手作りのハンブルグステーキに、4日間かけて作ったビーフシチューをかけて包み焼きにした、「つばめグリル」の看板メニュー。膨らんだアルミを開けると、ビーフシチューとジューシーなハンブルグステーキが。自家製ベーコンの香りも食欲をそそる。ローストした鶏もも肉と玉ねぎをマヨネーズであえて、トマトに詰めたサラダを添えて。

つばめ風ハンブルグステーキ(1包) ¥1,031  
トマトのファルシーサラダ(1個) ¥421

## shop list

次号予告

marie claire  
29th January, 2026

1月29日刊行です

ア アディクション ビューティ tel: 0120-586-683  
RMK Division tel: 0120-988-271  
イヴ・サンローラン・ボーテ tel: 0120-526-333  
ヴァシロン・コンスタンタン tel: 0120-663-1755  
ヴァレンティノ ビューティ tel: 0120-323-220  
ヴァン クリーフ&アーベル デスク tel: 0120-10-1906  
エルメスジャパン tel: 03-3569-3300  
オメガ tel: 0570-000087  
カネボウ化粧品 tel: 0120-518-520  
カルティエ カスタマー サービスセンター tel: 0120-1847-00  
グッチ クライアントサービス tel: 0120-99-2177  
クリスチャン ディオール tel: 0120-02-1947  
グラン お客様窓口 tel: 0120-140-677

サ コスメデコルテ tel: 0120-763-325  
ザ・ギンザ お客様窓口 tel: 0120-500824  
サンローラン クライアントサービス tel: 0120-952-746  
SHISEIDO お客様窓口 tel: 0120-587-289  
ジミー チュウ tel: 0120-013-700  
シャネル カスタマー ケア センター tel: 0120-525-519  
シュウ ウエムラ tel: 0120-694-666  
ショパール ジャパン プレス tel: 03-5524-8922  
ジョルジオ アルマーニ ジャパン tel: 03-6274-7070  
SUOQUO tel: 0120-988-761  
THREE tel: 0120-898-003  
セイコーウオッチ お客様相談室 tel: 0120-302-617  
タ トム フォード ビューティ tel: 0570-003-770

ナ NARS JAPAN tel: 0120-356-686  
日本ロックス tel: 0120-929-570  
ハ バテック フィリップ ジャパン・インフォメーションセンター tel: 03-3255-8109  
バブルファム ジャパン・インフォメーションセンター tel: 03-3264-3941  
バブルファン グリスチャン・ディオール tel: 03-3239-0618  
バレンシアガ クライアントサービス tel: 0120-992-136  
フェラガモ ジャパン tel: 0120-202-170  
フンディ ジャパン tel: 0120-001-829  
プッシュ クライアントサービス tel: 0120-230-441  
ブラダ ビューティ tel: 0120-950-992  
プラチナ・ギルド・インターナショナル tel: 03-3597-0251

ブルガリ・ジャパン tel: 0120-030-142  
ブレイク プティック銀座 tel: 03-6254-7211  
ボビー ブラウン tel: 0570-003-770  
ポール & ジョー ボーテ tel: 0120-766-996  
M-A-C tel: 0120-950-113  
メレリオ tel: 03-5817-7550  
モンクレール ジャパン tel: 0120-938-795  
ラ・メール お客様相談室 tel: 0570-003-770  
ルイ・ヴィトン クライアントサービス tel: 0120-001-854  
ロ・ビエーナ ジャパン tel: 03-5579-5182  
ロンドン tel: 03-6254-7350



Welcome to  
Our Site!



「marie claire」  
LINE公式アカウントはこちら

marieclairejapon.com

魚座pisces2月19日～3月20日★過去3年にわたり背負ってきたプレジッシャーや焦りを手放し、自分らしいペースで動いていくことが活性化に。楽しい一面白という気持ちを大切に、自分らしいスタイルで動いてみるのが鍵。

※表示価格は、本体価格に8%の消費税額を加えた「お支払い総額(税込価格)」となっております。  
※数に限りがございますので、品切れの際はご容赦ください。  
※掲載内容・価格は予告なく変更する場合がございます。  
※交通事情、天候などの状況により商品の変更、または販売中止となる場合がございます。

※写真はイメージです。  
※写真と実物では色・素材感などが異なる場合がございます。  
※掲載写真は盛り付け例です。  
※価格表示のないもの、器など撮影小物は、商品には含まれません。

2025年11月～12月、西武池袋本店の5フロアに  
47ブランドが順次オープン。リニューアル  
最新情報はこちら→

